14. 4-796
1200501208687
14.4
796

鑛業災害ニ依ル死傷統計

始

鑛業災害ニ依ル死傷統計

日本鑛山協會

帝國圖書館藏

鑛業災害ニ依ル死傷統計

帝國圖書館藏 昭和三年五月

144-796

例言

本邦に於て鑛業災害死傷統計として業務上の災害回數及死傷者數を全國的に集計せるは明治二十六年にして同年以降明治三十一年迄は鑛種別（金屬、石炭、其他非金屬山）による分類なく明治三十二年より此分類を見たり。

本統計は此等の資料により明治二十六年以降昭和二年迄過去三十五年間の災害回數、死傷者數を集錄せるものなるも此間負傷者の負傷の程度即ち重傷及輕傷の限界及罹災者の範圍に付き改變あり。其變遷を見るに明治二十六年より大正五年迄の統計に表はれたる死亡者は即死者に限り、重傷者及輕傷者は是を區別するに一定の基準を定めず、鑛山當事者の認定に依りしものにして罹災者の範圍も鑛夫及其他とし係員其他の從業員をも含めるものとせり。然るに大正二年より大正五年に至る期間に在りては重傷とは頭、四肢、視器、聽器其他の部分の永久的損傷にして豫後從前の業務に堪へさるもの、若は三十日以上休業を要するもの、輕傷とは前二項に該當せさるものとなし、罹災者の範圍は從前同樣とせるも大正五年現行鑛業警察規則公布により、重傷とは頭、四肢、視器、聽器其の他の部分の負傷にして從來の勞役に從事すること能はさるもの及其の見込のもの並三十日以上醫療を受け休業したるもの及其見込のものを謂ひ、輕傷とは三日以上醫療を受け休業したるもの及其の見込のものを謂ふことゝし、罹災者の範圍は鑛夫に限り更に是を男女に別ち年齡により十五歲未滿、二十歲未滿、二十歲以上に細別し、鑛種別も新に石油山なる一欄を加へ、金屬山、石炭山、石油山、其他非金屬山の四種として今日に及べり。如斯なるを以て大正五年以前のものと大正六年以後のものとは其內容稍異るものとす。

本統計に揭ぐる鑛夫數は各年六月末日現在の在籍人員にして鑛夫延工數は各年十二月末日の集計に依る、而して鑛夫數に對する災害死傷千分率及延工數に對する災害死傷萬分率を算出せるも上記の理由により大正五年以前の罹災者として計上せる數には係員其他の從業員の分を包含せるも、鑛夫以外の從業員の罹災數は各年僅少なるを以て大體に於て是を鑛夫

の死傷率と見做し得べし。

尙ほ本統計に掲ぐる災害數には砂鑛法により稼行する砂鑛々區に關するものを含まず、從つて鑛夫數及鑛夫延工數に就ても砂鑛々區に關するものを除去し、又大正十一年に於ける災害統計中災害數に關する數字には震火災により資料を燒失せし東京鑛山監督局管内のものを缺けり。

目次

一　災害死傷累年比較……一
二　鑛種別災害死傷累年比較……一
三　十年間平均鑛種別災害死傷比較……二
四　坑内外別災害死傷比較……三
五　事由別災害死傷比較……四
六　事由別中主なる災害死傷累年比較……五
七　石炭山に於ける出炭百萬瓲當死傷率累年比較……五
八　本邦と諸外國石炭山に於ける災害死傷比較……六

一　災害死傷累年比較（第一表）

明治二十六年以降各年鑛山に發生せる災害にして死傷者を生せるものの回數、死傷人員は第一表に示す如くにして、明治三十年に於ては僅かに回數二十三回、死亡數十五人、負傷數二十八人なりしもの十年後には一萬三千二百九十一回、死亡數五百八十一人、負傷數一萬三千四百九人となり、更に六年後の大正二年には急激に增加して回數十三萬四千四百五十五回、死亡數七百三十人、負傷數十三萬四千七百八十二人を示し以後逐年漸增して大正六年には十六萬四千七百二十四回、死亡數千二百四十九人、負傷數十六萬六千三百六十七人となり、歐洲大戰の影響を受け鑛業が最盛時期に達せる大正八年には實に二十萬九千七百二十八回、死亡數九百三十人、負傷數二十一萬八千六百一人なる最大數を示せり。

今昭和元年度の數字に基き、假りに鑛山の稼行日數を三百日とせば稼行一日毎に全國の鑛山にて合計五百二十八回の災害發生し死者二人七分、負傷者五百二十八人を出しつゝある割合に當れり。

以上の如く災害死傷實數は大正八、九年に於て最大にして、其以後各年稍減少の傾向を示すも、翻て鑛夫實數及鑛夫延工數に對する罹災者の率を見るに、大正八、九年に於けるものよりも其以後にありては却つて增大せるは、鑛業不況時期に入りて鑛夫數及鑛夫延工數の減少せるに拘らず災害罹災者數遞減の程度著しからざるに因るものにして、特に考慮を要する問題たるべし。昭和元年に至り幾分罹災率の低下せるを示せるは、近年各地に於て災害防止に關する各種施設の行はるゝに至れる結果ならんか。

二　鑛種別災害死傷累年比較（第二表）

鑛山に於ける災害を其鑛種に從ひ金屬山、石炭山、石油山及其他の非金屬山に大別して其發生回數、罹災者數、鑛夫千

人に對する死傷率、鑛夫延工數一萬工に對する死傷率を示せるものを第二表とす。

此等の細別表に就て見るに石油山及其他の非金屬山の罹災率は必ずしも第一表に述ぶるが如き趨向を辿らざるも石炭山にありては明かに其遞增を示し、金屬山に於ても大體增加の跡を示せり。蓋し前二者は之を後二者に比し、其實數に於て著しく少きが故に第一表の結果は大體後二者に依りて現はされたるものと見るへし。

三　十年間平均鑛種別災害死傷比較（第三表）

大正六年より昭和元年に至る十年間に於ける平均一ヶ年災害數を鑛山鑛種別に從ひ比較したるものを第三表とす。

本表に據れば災害死傷實數は石炭山に於て最も多く、死亡數、重傷數、輕傷數共何れも總數の八割八分內外を占め、金屬山に於けるものは總數の約一割內外に當り、石油山及其他非金屬山に於けるものは何れも一分五厘以下の數字を示すに過きす。災害死傷者率に就て見るに石炭山を以て第一位とし、大體金屬山のものは約其二分の一に當り、石油山及其他の非金屬山のものは更に低位なることを示せるが、尙其細別に於て死者、重輕傷者の千分率及延工數に對する死者及重傷者率は石炭山のものは何れも金屬山のものゝ約二倍なるに拘らず、石炭山の輕傷者の延工數に對する率は金屬山のそれに比して約三倍に上れることを示せると石油山の死傷者率の內重傷者の率のみは金屬山のものに匹敵せることを示せるは稍注目すべき點にして、石炭山には比較的輕傷者を多く出し、之に反して石油山には割合に多くの重傷者を出せるものと見ることを得べし。

尙之を詳述すれば石炭山に於ける死傷率を基準とし、他鑛種の鑛山のものを之に對比するに鑛夫千人に對する死亡率に付ては金屬山は其四割七分、石油山は三分五厘、其他非金屬山は三分六厘、重傷率に付ては金屬山は五割四分、石油山は五割七分、其他非金屬山は四割一分、輕傷率に付ては金屬山は四割三分、石油山は一割五分、其他非金屬山は二割八分に

當る。又鑛夫延工數一萬工當り死傷率を同樣比較するに石炭山に於けるものを各一とすれば、死亡率に付ては金屬山は其四割一分、石油山は二割五分、其他非金屬山は三割三分、重傷率に付ては金屬山は四割七分、石油山は四割六分、其他非金屬山は四割四分、輕傷率に付ては金屬山は三割七分、石油山は一割二分、其他非金屬山は二割九分に當る。

四　坑內外別災害死傷比較（第四表及第五表）

鑛山に於ける災害は事業の性質上坑外よりも坑內に於て頻發するは當然なるが兩者の比較は第四表の如し。

之に依れば坑內に於ける災害實數は最近十年間の平均に付て見るに、鑛山に於ける災害總數に對し回數に於ては其八割六分、死亡數は九割、重傷數及輕傷數は共に八割六分を占め、坑外に於ける災害數は僅に總數の一割乃至一割四分に當るに過ぎず。而して鑛夫實數及延工數の坑內外別從業割合は大約六と四との比なり。

鑛夫千人に對する死傷率を比較するに、坑內災害死亡率は坑外のものに比し其約五倍なることを示し、重傷及輕傷率は坑外のものに比し共に約三倍に當り、延工數一萬工に對する死傷率を見るに坑內に於ける災害死亡率は坑外に於けるものの七倍、重傷及輕傷率は坑外のものに比し共に約四倍なることを示せり。

更に災害死傷數を鑛種別に比較するに（第五表）坑內にありては石炭山に於けるもの九割以上を占め、坑外に於けるものに就ても石炭山は五割乃至六割を占め、鑛夫數又は延工數に對する災害死傷率に於ても石炭山は他よりも著しく高率なることを示せり。蓋し第六表に揭ぐる災害事由別に就て考査すれば石炭山が他の鑛山に比して災害の多き原因も自ら明かなる所あるべし。

大正六年より昭和元年に至る十ヶ年間累年の坑內外別及鑛種別による比較は第五表の如し、

五　事由別災害死傷比較（第六表）

現行鑛夫死傷者月報樣式の事由別に從ひ大正六年より昭和元年迄十年間の災害數を集計し一年間に對する平均數を算出せるものを第六表とす。

第六表の(一)に付て見るが如く鑛山に於ける災害事由中回數並に死傷數に於て最も多きは落磐にして、其回數、重傷數、輕傷數は各總數の三割五分餘に當り、其死亡數に至りては總數の四割三分を占む。是に亞ぐは坑内に於ける坑車の爲にして一割内外を示し、其他坑車逸走又は脫線、坑外鑛車又は架空索道の爲、坑外器械の爲等を主なるものとす。而して死亡數に付て見るときは落磐に亞ぐは瓦斯炭塵の爆發によるものにして、總死亡數の一割四分を占む。

坑内及坑外に於ける事由欄中「其他」なる項目に屬するものは轉倒、墜落、踏拔其他多種多樣なる事由を一括せるものにして其數は固より大なり。坑内に於ける「其他」欄に屬するものは總數の約三割八分、坑外に於ける「其他」欄に屬するものは總數の約一割三分を占むるも、現行統計表樣式にては其内容を詳かにすることを得さるを遺憾とす。今後其内容を更に分類して事由を明かにせば災害防止上參考となること尠からさるべし。

尙罹災者性別に就て之を見るに統計に於て坑内外共に女子の罹災者數は男子の約五分の一、落磐に於ては約六分の一なるにも拘らず坑内鑛車の事故に由る罹災數は四分の一の多數に上るは女子か主として運搬又は仕繰手傳作業に從事する結果ならん。女子の一ヶ年平均罹災者總數は約三萬人なり。

鑛山鑛種別に從て災害事由別を比較するに、金屬山の落磐は總數の七分なるに比し石炭山の落磐は總數の約四割を占む。坑車に依る災害も又金屬山の割合と比較して稍大なるを見るも結局石炭山の災害が他に比して著しく大なるは主として落磐災害の數甚だ多きが爲めなることを數字的に明示するものにして鑛山災害中石炭山に於ける落磐の防止と各鑛山「其他」

欄に揭げたる轉倒、眼内異物竄入、踏拔等比較的輕微なる事故の防止に努めば著しく災害數を減却することを得べし。

六　事由別中主なる災害死傷累年比較（第七表）

事由別中多數を占むる災害が最近十ヶ年間に於て如何なる增減の割合を以て推移しつゝあるかは之を第七表に就て見るべし

災害數の大部分を占むる石炭山の落磐は大正八年に其最大數を現はし爾來漸減の傾向を示したるも大正十年、十二年及大正十四年に於て稍增加せるは其原因單に從業鑛夫數の增加にありや否や、幸にして昭和元年に至り著しく低減の迹を示せるは前述の如く災害防止に關する各種施設の結果ならんか、落磐に亞ぎて多數を占むる坑車に因る災害數の增減趨向は落磐のそれと全く其軌を一にせり。

金屬山に於ける落磐及坑車に因る災害數は大正六年以降同十二年迄漸減の傾向にありしもの爾後幾分增加の形勢を示せるは注意に値すべし。

七　石炭山に於ける出炭百萬瓲當死傷率累年比較（第八表）

石炭山に於ける各年の災害死傷數と出炭量との關係を見ん爲出炭百萬瓲當りの死亡率、重傷率及輕傷率を算出したるものを第八表とす。

本表の示す所に依れば各年に於ける百萬瓲當り死傷率の大勢を察知するに足るべき輕傷者率の增減は第七表に示せる落磐及坑車に因る災害の增減趨勢と略同一の傾向を現はせるが、一方出炭量は大正十年以後逐年增加せるに依て見れば此等の增減傾向は必ずしも事業の盛衰に比例するものにあらさるが如し。但し鑛夫數の增減は大正十年以後にあつては稍此等

の増減傾向と伴へり。

出炭百萬瓲當り死傷率の中死亡率は各年不定にして一定の傾向なきは瓦斯炭塵の爆發により一擧に多數の生命を奪ふ場合には遽に高率を示すによるべく、重傷率は大正五年迄は出炭百萬瓲に付百人に滿たざりしもの大正六年よりは劇增し各年百四十三人乃至二百三人を示せるは届出樣式改正の結果によるものにして、輕傷率は大正元年迄出炭百萬瓲に付一千人未滿なりしもの大正二年より遽に四千人以上を示すに至れるは注目に値す。

八　本邦と諸外國石炭山に於ける災害死傷比較（第九表）

本表に於ては主として死者に就て比較せるも各國に於ける詳細の資料を缺ける廉多く充分なる比較をなし難きを遺憾とす。

我邦は累年死者實數に於て佛國を除き、英米獨よりも少數なるも負傷者數に於ては英國よりも概して多數なり。死亡者率に至りては獨米と稍伯仲の間に在るも英佛に比し著しく多數なり。

事由別中、落磐に因る死者は其他の事由に比し本邦同樣英米共に高率なるも大體に於て逐年減少の傾向を示せるが本邦のもはの必ずしも遞減の數を示さず。而して出炭量一萬瓲當死者數に至りては本邦は英米佛獨の何れよりも多數なり。

第一表　災害死傷累年比較

年次		同數	死傷人員 死亡	死傷人員 負傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 負傷	鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 負傷
明治	二十六年	二八	六三	三五	八六、九一七	〇・七〇	〇・四〇	二六、九一三、七九四	〇・〇二	〇・〇一
同	二十七年	二六	五五	六三	一〇一、四六一	〇・五四	〇・六一	三〇、二六二、五六五	〇・〇二	〇・〇二
同	二十八年	二七	七七	三三	一一八、九六三	〇・六五	〇・二八	三二、八七四、〇三九	〇・〇二	〇・〇一
同	二十九年	一八	四四	四五	一一八、五一七	〇・三七	〇・三八	三五、四一八、六〇九	〇・〇一	〇・〇一
同	三十年	二三	一五	二八	一六〇、五三九	〇・〇九	〇・一九	三七、六五二、五五五	〇・〇〇	〇・〇一
同	三十一年	一五	一九	四九	一三三、七三一	〇・一四	〇・三七	三三、四五〇、八六六	〇・〇一	〇・〇一
同	三十二年	五八	六七四	九九	一一九、六六七	五・六三	〇・八三	三二、七八四、四三八	〇・二一	〇・〇三
同	三十三年	一七三	一七一	三〇六	一三一、〇一一	一・三一	一・三四	三三、四六一、六四一	〇・〇五	〇・〇九
同	三十四年	三四四	二一九	三五八	一四五、七五五	一・五〇	一・四六	三六、九三一、六七一	〇・〇六	〇・一〇
同	三十五年	四七三	三三八	五四六	一四六、九三九	三・二三	三・七三	三八、〇〇三、五五九	〇・〇九	〇・一〇
同	三十六年	五四一	三〇九	五六八	一五七、一二九	一・九七	三・六一	四二、六八七、四九九	〇・〇七	〇・一四
同	三十七年	九八五	二六七	九五二	一六四、八五八	一・六二	五・七七	四四、〇二二、六三四	〇・〇六	〇・一三
同	三十八年	三、五六二	三三〇	三、四七九	一五四、九七五	二・一三	二・二四五	四一、〇二七、七一五	〇・〇八	〇・二二
同	三十九年	六、六二〇	七六三	六、五一九	一八七、九二二	四・〇六	三四・六九	五一、二四四、〇九六	〇・一五	〇・八五
同	四十年	一三、二九一	五八一	一三、四〇九	二一四、四三五	二・七一	六二・五三	五六、四四〇、八二二	〇・一〇	一・二七
同	四十一年	一四、七二二	三二五	一四、七四二	二〇二、五八九	一・五五	七二・七七	五七、〇六五、九四一	〇・〇六	二・三八
同	四十二年	一四、八〇三	六七三	一四、六六二	二三三、八二九	二・八八	六二・七〇	五六、二三五、〇七七	〇・一二	二・六一

第二表　鑛種別災害死傷累年比較

(1) 金屬山

年次	回數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	鑛夫延工數	鑛夫延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	鑛夫延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	鑛夫延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
同四十三年	一五〇一九	四二五	一四、七三三	二二、一九五	一、九一	六六・三〇	五七、九一八、三一三	〇・〇七	二、五四
同四十四年	二三、七三三	六三九	二三、一七三	二二六、三〇八	二、八二	一〇二・三九	六〇、八五五、三一五	〇・一一	三、八一
大正元年	三一、〇三〇	九八九	三〇、七四七	二三四、三五〇	四・二二	一一・二〇	六四、四〇二、〇〇〇	〇・一五	四、七七
同二年	三四、四五五	七三〇	一三四、七八二	二六二、一六三	二・七八	五一四・一三	六七、四七九、八八二	〇・一一	一九、九七
同三年	一五七、〇二一	一、七五八	一五七、二四四	二七〇、五八〇	六・五〇	五八一・一四	七〇、三七〇、三三八	〇・二五	二二、三五
同四年	一四八、八六八	八四九	一四九、一二九	二九〇、〇八四	二・九三	五一四・〇九	六九、九四三、二〇三	〇・一二	二一、三三
同五年	五一、六五五	六三三	一四九、一八六	三五二、五一二	一・七七	四二三・二一	八七、三五〇、一五六	〇・〇七	一七、〇八
同六年	一六四、七二四	一、二四九	一六六、三六七	三六六、八四三	二・八八	三八三・四七	一〇四、九〇三、二三五	〇・一二	一五、八六
同七年	一七二、二六九	九一四	一七〇、〇二九	四六四、七二七	一・九七	三六五・八七	一一三、〇三九、三九九	〇・〇八	一五、〇四
同八年	二〇九、七二八	九三〇	二一八、六〇一	四六五、一五八	二・〇〇	四六九・九五	一一七、四九八、三三六	〇・〇八	一八、六〇
同九年	一九三、四九〇	一、〇九九	二〇三、〇三四	四三九、一五九	二・五〇	四六二・三三	一〇六、九三五、七五〇	〇・一〇	一八、九九
同十年	一七四、四四八	六九四	一七五、四五七	三三八、八〇八	二・一一	五三三・六一	八〇、九四六、一〇三	〇・〇九	二、九八
同十一年	一六四、一四七	五八五	一六五、〇三三	三〇〇、八六一	一・九四	五四八・五四	七五、三七六、八四五	〇・〇八	二、一八九
同十二年	一八六、九六三	七四一	一八七、八七〇	三三三、三八七	二・二三	五六五・二一	七五、八六二、七九〇	〇・一〇	二四、七六
同十三年	一七五、〇八〇	九〇三	一七五、七〇二	三〇五、二五二	二・九六	五七五・五九	七六、〇八〇、三七一	〇・一三	三三、〇九
同十四年	一八七、〇二六	七八六	一八七、五一五	三一〇、四二六	二・五三	六〇四・〇六	七七、五八一、一九七	〇・一〇	二四、一七
昭和元年	一五八、三三三	八〇一	一五八、四七六	二九三、五六二	二・七三	五三九・八四	七四、五七三、九二一	〇・一一	二一、二五

年次	回數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	鑛夫延工數	鑛夫延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	鑛夫延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	鑛夫延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
同十三年	一八七、〇八六	七四一	一八七、八七〇	三〇五、二五二	二・九六	五六五・二一	七六、〇八〇、三七一	〇・一三	二四、一七
同十四年	一八七、〇二六	七八六	一八七、五一五	三一〇、四二六	二・五三	五七五・五九	七七、五八一、一九七	〇・一〇	二四、一七
同十五年	一五八、三三三	八〇一	一五八、四七六	二九三、五六二	二・七三	五三九・八四	七四、五七三、九二一	〇・一一	二一、二五
同十六年	一五八、〇二一	七八六	一八七、五一五	三一〇、四二六	二・五三	五七五・五九	七七、五八一、一九七	〇・一〇	二四、一七
同十七年	一五八、〇二一	七八六	一八七、五一五	三一〇、四二六	二・五三	五七五・五九	七七、五八一、一九七	〇・一〇	二四、一七
同十八年	一五八、〇二一	七八六	一八七、五一五	三一〇、四二六	二・五三	五七五・五九	七七、五八一、一九七	〇・一〇	二四、一七
同十九年	一五八、〇二一	七八六	一八七、五一五	三一〇、四二六	二・五三	五七五・五九	七七、五八一、一九七	〇・一〇	二四、一七
同二十年	一五八、〇二一	七八六	一八七、五一五	三一〇、四二六	二・五三	五七五・五九	七七、五八一、一九七	〇・一〇	二四、一七

(2) 石炭山

年次	回數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
同 十一年	九、三九五	三三	二四九	九、二四八	四〇、〇八〇	〇・八〇	六・二一	三三〇・七四	一一、九二九、五二九	〇・〇三	〇・二一	七・七五
同 十二年	一三、一三八	六七	四八五	一二、七〇六	四一、九七一	一・六〇	一一・五六	三〇二・七三	一二、五七六、六八八	〇・〇五	〇・三九	一〇・一〇
同 十三年	一三、一九七	五〇	一〇二〇	一二、二二六	四二、三六一	一・一八	二四・〇八	二八八・六一	一二、九七六、八五三	〇・〇四	〇・七九	九・四二
同 十四年	一四、四五九	五一	九六六	一三、五六九	四四、八六一	一・一四	二一・五三	三〇二・四七	一三、五二四、〇〇三	〇・〇四	〇・七一	一〇・〇三
昭和元年	一三、八六〇	七六	二九三	一三、五九八	四六、九二三	一・六二	六・二四	二八九・七九	一三、七五一、八六九	〇・〇六	〇・二一	九・八九
明治三十二年	四五	二六五	二七	二五	六〇、九六四	四・三五	〇・四四	〇・四一	一六、五三九、八八七	〇・〇一	〇・〇二	〇・〇二
同 三十三年	一二五	四三	七八	八〇	七〇、五〇八	〇・六一	一・一	一・一四	一六、九九二、一〇二	〇・〇三	〇・〇五	〇・〇三
同 三十四年	二四六	一八〇	一九一	七八	七五、二三〇	二・三九	二・五四	一・〇四	一九、四一四、六七六	〇・〇九	〇・一〇	〇・〇四
同 三十五年	三七五	一三五	一七二	二一九	七八、八九四	一・七一	二・一八	二・七八	一九、九八七、六四〇	〇・〇七	〇・〇九	〇・一一
同 三十六年	三八八	二一五	二七九	一八〇	八四、九四一	二・五三	三・二八	二・一二	二二、二五八、三六八	〇・一〇	〇・一三	〇・〇八
同 三十七年	七三五	一八九	二二四	五一二	八八、三三〇	二・一四	二・五四	五・七九	二二、六六三、一九〇	〇・〇八	〇・一〇	〇・二三
同 三十八年	二、五五六	二五六	一九〇	二、三三四	七九、五〇五	三・二一	二・五九	二・九六	一九、三三〇、七三六	〇・一三	〇・一〇	一・二一
同 三十九年	五、〇二三	五六〇	二九八	四、六五四	一〇六、五八九	五・二五	二・七九	四三・六六	二七、七四二、八六二	〇・二〇	〇・一一	一・六八
同 四十年	七、三八八	四六八	五三一	七、〇一二	一二八、七七三	三・六三	四・一二	五四・四五	二一、七一四、七〇七	〇・一五	〇・一七	二・二一
同 四十一年	八、二五七	二四五	四三一	七、八八四	一二六、九九九	一・九三	三・三九	六二・〇六	三四、〇六八、八四九	〇・〇七	〇・一三	二・三一
同 四十二年	八、一八八	五三五	四一〇	七、七一二	一五二、五一五	三・五一	二・九九	五〇・五七	三二、七六〇、五〇六	〇・一六	〇・一三	二・三二
同 四十三年	七、一七〇	三〇七	四三九	六、五四九	一三七、四六七	二・二三	二・三八	四三・〇六	三三、七一一、九七六	〇・〇九	〇・一三	一・九四
同 四十四年	一三、三六一	四九七	八四〇	一二、二九七	一四五、四一二	三・四二	三・三九	五・七八	三六、一〇六、一二七	〇・一四	〇・二三	三・四一
大正元年	一八、六三五	八六〇	一、三八九	一七、〇四六	一五二、四二九	五・六四	九・一一	一一・八三	三八、六八二、〇九二	〇・二二	〇・三六	四・四一

(3) 石油山

年次	回數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
同 二年	一〇〇、五八〇	五〇七	八二三	九九、九四五	一七二、四四六	二・九四	四・四七	九・七四	二四・七七	〇・一三	〇・二〇	二・七七
同 三年	一一四、七八六	一、五七二	四六〇	一一四、六三二	一八二、六三七	八・六一	二・五一	一〇・一〇	二五・九九	〇・一五	〇・一〇	二・九九
同 四年	一〇七、二七二	六五四	三七四	一〇七、一八九	一九三、一四二	三・三九	一・九四	五五四・九七	二五・二九	〇・一一	〇・二九	二・四八
同 五年	一〇七、四七七	四四九	一、三八五	一〇四、七八五	一九七、九〇七	二・二三	六・九九	五二九・四六	二七八、七七一	〇・一〇	〇・二九	二・三八
同 六年	二二七、〇四〇	一、〇〇八	三、八二四	一二五、〇〇三	二〇五、〇一四	四・〇三	一五・二九	四九九・七一	二五二、一〇六九	〇・一七	〇・一〇	二・二七
同 七年	二三七、〇一三	六八二	四、五〇八	一三四、〇六三	二八七、一五九	二・三七	一五・七〇	四六六・八三	二四九、〇二二	〇・一八	〇・一〇	二・二〇
同 八年	一八一、二八二	七六五	五、五〇五	一八四、五三七	三四八、二四〇	二・二〇	一五・八一	五三九・九一	二六七、七六一四	〇・〇九	〇・二〇	二・二〇
同 九年	一六八、七一〇	九九二	五、〇〇六	一七三、二三四	三四二、八七三	二・八九	一四・六〇	五〇五・二四	二四九、〇二二	〇・一〇	〇・二二	二・四〇
同 十年	一五八、八三四	六四三	五、三〇一	一五四、二九九	二六七、六一四	二・四〇	一九・八一	五七六・五七	二三・六四	〇・一〇	〇・二六	一・九八
同 十一年	一五三、七八〇	五四七	五、八八七	一四八、六六九	二四九、〇二二	二・二〇	二三・六四	五九七・〇一	二七八、七七一	〇・一一	〇・三八	二・一七
同 十二年	一七二、三二二	六六三	五、九〇二	一六七、二二八	二七八、七七一	二・三八	二・一七	五九九・八八	二五一、〇六九	〇・一四	〇・九八	二・八八
同 十三年	一六〇、一七八	八三九	六、一一四	一五四、五八五	二五一、〇六九	三・三四	二四・三五	六一・五七一	五九、七二〇、七〇〇	一・〇三	一・〇三	二五・八九
同 十四年	一七一、〇二四	七二一	四、五五三	一六六、九一六	二五二、八九八	二・八五	一七・八八	五九四・六三	六〇、三六八、三三	〇・一二	〇・七五	二七・六五
昭和元年	一四三、〇三〇	七二	三、三六四	一三九、七六五	二三五、〇四四	三・〇三	一四・三一	五九四・六三	五七、四三三、四七二	〇・一二	〇・五九	二四・三四
大正六年	八四三	八	五一	八七五	七、六五二	一・〇五	六・六六	一〇二・五九	二、三八二、七九二	〇・〇三	〇・二一	三・二九
同 七年	六九九	一六	七〇	六三二	八、〇六三	一・九八	八・六八	八九・〇五	二、四三九、五四九	〇・〇七	〇・二九	二・五九
同 八年	六八五	一〇	五五	六二一	七、八八三	一・二七	六・九八	七八・七八	二、四六七、二五六	〇・〇四	〇・二三	二・五三
同 九年	八五六	五	五八	七九三	八、六九四	〇・五八	六・六七	九一・二一	二、五八六、一七〇	〇・〇二	〇・二三	三・〇七

(4) 其他ノ非金屬山（自明治三十二年至大正五年ハ石油山ヲ含ム）

年次	同數	死傷人員 死亡	重傷	輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	重傷	輕傷	鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	重傷	輕傷
同十年	九三四	五	五六	八六六	一一、七七四	二・四三	四・七六	七三・五五	二、五七九、一八九	〇・〇三	〇・二二	三・三六
同十一年	六一一	四	一一三	四九七	八、七〇四	〇・四六	一二・九六	五七・五二	二、五六六、九八八	〇・〇三	〇・四四	一・九四
同十二年	八六七	九	一三七	七六一	七四八五	一・二〇	一六・九七	一〇一・六七	二、二四八、三七六	〇・〇四	〇・五六	三・三八
同十三年	七四四	五	九四	六八九	六、九四〇	〇・七二	一三・五四	九三・五二	二、一二〇、三三九	〇・〇二	〇・四四	三・二五
同十四年	六三九	六	一〇六	五三一	七、三三〇	〇・八二	一四・四八	七二・五四	二、二二八、八九二	〇・〇三	〇・四八	二・三八
昭和元年	六〇九	六	一二四	五一三	六、四〇六	〇・九四	一七・八〇	八〇・〇八	二、一一七、六三〇	〇・〇三	〇・五四	二・四二
明治三十二年	二	五	—	—	七、五六三	〇・六六	—	—	一、一四一、九四六	〇・〇四	—	—
同三十三年	五	六六	一二	一六	五、六九八	一一・五八	一・九三	二・八一	一、三一九、一八五	〇・五〇	〇・〇八	〇・一二
同三十四年	三	六	—	四	六、五四五	〇・九二	—	〇・六一	一、四一四、三三一	〇・〇四	—	〇・〇三
同三十五年	九	一六	五	一四	七、七〇六	二・〇八	〇・六五	一・八二	一、四六六、三八一	〇・一一	〇・〇三	〇・一〇
同三十六年	一九	九	六	七	七、三二九	一・二三	〇・九六	〇・九六	一、八二九、四一〇	〇・〇五	〇・〇三	〇・〇四
同三十七年	一〇	一〇	九	一〇	六、六〇九	〇・六一	一・二二	一・三五	一、九四七、六三二	〇・〇五	〇・〇五	〇・〇五
同三十八年	三六	四	四	二〇	七、五八二	一・三三	一・四五	一・一九	一、八一三、三〇八	〇・〇二	〇・〇三	〇・〇二
同三十九年	二六	一〇	一一	九	八、九四二	〇・七八	一・一二	一・二二	二、三四九、六五〇	〇・〇三	〇・〇四	〇・〇五
同四十年	四二	七	一〇	一一	六、一五七	〇・八一	〇・九七	二・七六	二、二〇〇、一三〇	〇・〇二	〇・〇三	〇・〇八
同四十一年	三四	五	六	一七	七、二〇七	五・六九	一・八〇	四・八六	二、五一六、八二一	〇・一六	〇・〇五	〇・一四
同四十二年	六六	四一	一三	三五	九、九九二	一・五〇	一・一〇	二・九〇	二、九九〇、四九一	〇・〇五	〇・〇四	〇・一〇
同四十三年	七四	一五	一二	二九								

第三表　十年間平均鑛種別災害死傷比較（自大正六年至昭和元年十年間平均）

(1) 平均一年間ノ實數

鑛種別	回數	死傷人員 死亡	重傷	輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	重傷	輕傷	鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	重傷	輕傷
同四十四年	三七〇	一七	一九	一〇三	八、八二	二・〇五	二・二九	一二・四四	二、八四六、三九五	〇・〇六	〇・〇七	〇・三六
大正元年	一三〇	九	六	一〇六	八、三二七	一・〇九	〇・七三	一二・八八	二、五六六、六七五	〇・〇四	〇・〇三	〇・四一
同二年	一、四〇三	六一	二〇	一、四一五	一〇、三三八	五・九六	一・九五	一三・九・一九	二、八七七、五七一	〇・二一	〇・〇七	四・九五
同三年	二、〇一九	一八	八	二、〇〇一	一〇、七二九	一・六八	〇・七五	一八・六・五〇	二、九五八、六七〇	〇・〇六	〇・〇三	六・七六
同四年	四、〇〇三	二七	二四	三、九八七	一〇、五八三	二・五五	二・二七	三七・六・七七	二、七〇六、四三三	〇・一〇	〇・〇九	一四・七三
同五年	二、一五三	一八	九六	一、八五七	一五、四三〇	一・一七	六・二二	一二〇・三五	四、〇三〇、五一七	〇・〇四	〇・二四	四・六一
同六年	二、六八一	一〇	七八	二、五九二	一〇、八九六	〇・九二	七・一六	二三七・八八	二、五一七、三九五	〇・〇四	〇・三一	一〇・三〇
同七年	一、四七三	四	七一	一、四六二	八、五四五	〇・六八	一二・〇九	二四八・八三	一、九三二、六二八	〇・〇三	〇・三七	七五・六
同八年	八八七	一一	三三	八三七	八、二三五	一・三四	三・八九	一〇一・六四	一、八七五、九〇一	〇・〇六	〇・一七	四・四六
同九年	八七八	二	二七	八三九	八、七五〇	〇・二三	三・〇九	九五・八九	一、三八九、六七九	〇・〇一	〇・一九	六・〇四
同十年	五九八	三	三一	五七七	三、九七七	〇・七五	七・七六	一四四・三六	九六五、〇七五	〇・〇三	〇・三二	五・九八
同十一年	三六一	二	二九	三四二	三、〇五五	〇・六五	九・四九	一一一・九六	七六八、八三三	〇・〇三	〇・三八	四・四五
同十二年	六四六	二	四五	六一六	四、一六〇	〇・四八	一〇・八三	一四八・二二	九七四、二九一	〇・〇二	〇・四六	六・三二
同十三年	九六一	九	八三	八九一	四、八八二	一・八四	一七・〇〇	一八二・五一	一、三六二、四七九	〇・〇七	〇・六六	七・〇六
同十四年	九〇四	八	五三	八五三	五、三四七	一・五〇	九・七三	一五九・五三	一、四五九、五八〇	〇・〇六	〇・三六	五・九三
昭和元年	八三三	七	二七	八〇二	五、一八九	一・三六	五・二〇	一五四・五六	一、二七〇、九五〇	〇・〇六	〇・二一	六・三一
金屬山	一九五三〇	一〇〇	七四八	一八四五五	七、七三七	一・〇三	九・七五	二四〇・五〇	二、一〇六、八八二	〇・〇五	〇・三六	八・七六

鑛種別	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫延工數
石炭山	一五七、三二〇	七五七	四、九九三	一五四、八三〇	〇・一二
石油山	七四九	七	八四	六六九	〇・〇三
其他非金屬山	一、〇二二	六	四八	九八一	〇・一〇
計	一七八、六二一	八七〇	五、八七三	一七四、九三五	〇・一〇

(2) 平均一年間ノ割合

鑛種別	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫延工數
金屬山	一〇・九三 %	一二・七四 %	一〇・五五 %	二〇・八九 %	三三・二四 %
石炭山	八八・〇七	八五・〇二	八八・五一	七二・四四	七二・四四
石油山	〇・四二	一・四三	〇・三八	二・六二	二・六三
其他非金屬山	〇・五七	〇・八三	〇・五六	一・七〇	一・七二
計	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

坑內外別	死傷人員 同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
坑內	一五三、九七五	七八九	五、〇四七	一五一、三〇七	二四一、六九一	三・二六	二〇・八八	六三六・〇三	五四、六三七、六七〇	〇・一四	〇・九二	二七七〇
坑外	二四、六四六	八一	八二五	二三、六二九	三六、九三五	〇・六四	六・五六	一七七・九四	三五、六五一、一二四	〇・〇三	〇・三三	六六三
計	一七八、六二一	八七〇	五、八七三	一七四、九三五	三六七、四一八	二・三七	一五、九八	四七六・一二	九〇、二七八、七九五	〇・一〇	〇・六五	一九・三八

(1) 平均一年間ノ實數

第四表　坑內外別災害死傷鑛種別比較（自大正六年至昭和元年十年間平均）

坑內外別	死傷人員 同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
坑內	一五三、九七五	七八九	五、〇四七	一五一、三〇七	二四一、六九一	三・二六	二〇・八八	六三六・〇三	五四、六三七、六七〇	〇・一四	〇・九二	二七七〇
坑外	二四、六四六	八一	八二五	二三、六二九	三六、九三五	〇・六四	六・五六	一七七・九四	三五、六五一、一二四	〇・〇三	〇・三三	六六三
計	一七八、六二一	八七〇	五、八七三	一七四、九三五	三六七、四一八	二・三七	一五、九八	四七六・一二	九〇、二七八、七九五	〇・一〇	〇・六五	一九・三八

(2) 平均一年間ノ割合

鑛種別	坑內外別 坑內 死傷人員 死亡	坑內外別 坑內 死傷人員 重傷	坑內外別 坑內 死傷人員 輕傷	坑內外別 坑內 鑛夫數	坑內外別 坑內 鑛夫延工數	坑內外別 計 死傷人員 死亡	坑內外別 計 死傷人員 重傷	坑內外別 計 死傷人員 輕傷	坑內外別 計 鑛夫數	坑內外別 計 鑛夫延工數
金屬山	七・二六	九〇・六九	九・一三	九〇・五一	六五・七八	八・二〇	八五・九五	八六・四九	七〇八	一七・三七
石炭山	九二・六一	九・二一	九〇・五〇	三四・二三	三九・四九	一三・八〇	一四・〇五	一三・五一	九二・七九	八一・七九
其他非金屬山	〇・一三	〇・一六	〇・一六	〇・九六	〇・八四	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

第五表　坑内外別災害死傷累年比較（自大正六年至昭和元年十年間）

(1)　坑内及坑外ノ災害數總計

坑内外別	年次	回數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑内外別 鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑内外別 延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
坑内	大正六年	一三四四四七	一、一一九	四一九八	一三二、〇七七	二七七、四三一	四、〇三	一五、一三	四七六、〇七	六三一、八一、八七〇	〇、一八	〇、六八	二一、二四
同　七年		一三八、一七五	七八〇	四、七九三	一三四、九五四	二九九、五二八	二、六〇	一六、〇〇	四五〇、五七	六八、〇一七、四〇六	〇、一一	〇、七〇	一九、八四
同　八年		一七六、七一八	八二三	五、四一九	一七九、六三三	三〇六、三〇〇	二、六九	一七、六九	五八六、四六	七〇、六三三、四二三	〇、一三	〇、七七	二五、四四
同　九年		一六四、七〇七	一〇二四	五、〇八三	一六八、四九二	二八七、二二六	三、五七	一七、〇〇	五八六、六二	六五、二七四、〇四〇	〇、一六	〇、七八	二五、八一
同　十年		一五一、五〇五	六三七	五、一二六	一四八、二〇三	二一四、一七四	二、九七	二三、九三	六九一、九七	四九、四九九、三九	〇、一三	一、〇四	二九、九四
同　十一年		一四八、一二四	五三七	五、五八八	一四一、三六五	二〇〇、三〇一	二、六八	二七、九〇	七〇五、七六	四五、八九六、〇五〇	〇、一二	一、二二	三〇、八〇
同　十二年		一六五、四二七	六六八	五、七六七	一六〇、三一三	二二五、〇五一	二、九七	二五、六三	七一、二三四	四五、七九七、八八〇	〇、一五	一、二六	三五、〇〇
同　十三年		一五四、六七四	八四六	六、三七三	一四八、七七五	二〇三、五一〇	四、一六	三一、三三	七三一、〇五	四六、三五六、二七三	〇、一八	一、三七	三、二〇九
同　十四年		一六六、六七一	七二〇	四、八七八	一六二、一七四	二〇八、二九五	三、四六	二三、四二	七七八、五八	四七、一四三、八二二	〇、一五	一、〇三	三〇四、四〇

(2)　坑内ノ災害數（鑛種別）

鑛種別	年次	回數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑内鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑内鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
坑内	大正六年	一四〇、二九八	七三七	一、〇三〇	二九、〇六二	一九五、一〇七	〇、八三	六、五九	一八五、八〇	四二、七二一、三六五	〇、〇三	〇、二四	六、八〇
同　七年		一五三、九七五	七八九	五、〇四七	一五一、三〇七	二四一、六九一	三、六	二〇、八八	六二六、〇三	五四、六二七、六七〇	〇、一四	〇、九二	二七、七〇
同　八年		一五三、〇九四	一三四	一、〇八四	二九、一九八	一五六、二〇九	〇、八一	六、五六	一七六、七三	四五、〇二一、九九三	〇、〇三	〇、二四	六、四九
同　九年		三三、〇一〇	一〇七	九五九	三三、五九〇	一五八、八五八	〇、六七	六、〇四	二〇五、一五	四六、八七四、九一三	〇、〇二	〇、一〇	六、八九
同　十年		二八、七八三	七五	七六〇	二八、六九九	一一四、六三四	〇、四九	五、〇〇	一八八、八九	四一、六五一、七〇八	〇、〇二	〇、一八	六、八二
同　十一年		二一、九四三	五七	六九〇	二一、四三八	一〇〇、五六〇	〇、四八	六、八五	一七二、九四	三一、四四六、八六四	〇、〇二	〇、二二	六、八二
同　十二年		一八、〇二三	四八	六八九	一七、三九一	一〇七、三六六	〇、六八	七、三八	一九五、六三	二九、四八〇、七九五	〇、〇二	〇、二三	五、九〇
同　十三年		二〇、四〇六	七三	七九二	二〇、九九八	一〇一、七四二	〇、五六	九、三二	一九二、八〇	二九、七二四、〇九八	〇、〇二	〇、二六	六、六〇
同　十四年		二〇、三五五	六六	七六八	一九、六九五	一〇二、一三一	〇、六五	七、五二	一九二、八四	三〇、四三七、三七五	〇、〇二	〇、二五	六、四七
昭和元年		一八、〇三四	六四	五四一	一七、五九九	九八、四五五	〇、六四	五、四九	一七八、七五	二九、〇八七、二二一	〇、〇二	〇、一九	六、〇五
平均		二四、六四六	八一	八二五	二三、六二九	一二五、七二七	〇、六四	六、五六	一八七、九四	三五、六五一、一二四	〇、〇二	〇、二三	六、六三
金	大正六年	一八、七四五	一四四	七三五	一七、八八二	八六、四〇九	一、六七	八、三九	二〇六、九五	二一、一二九、二一七	〇、〇七	〇、三四	八、四六
同　七年		一七、一八七	一五〇	七二九	一六、四七〇	八三、九八六	一、七九	八、六八	一九六、一〇	一一、一七二、一四七	〇、〇八	〇、三八	八、五四
同　八年		一四、七一四	一一一	五〇三	一四、二四九	四七、七五五	二、三三	一〇、五三	二九八、三一	九、三七〇、六六七	〇、〇九	〇、四一	一一、七一
同　九年		一二、七九八	七五	四九九	一二、三五〇	三四、六二一	二、一七	四一、四九	一四、三五五、四三		〇、〇八	〇、五三	一三、一三

鑛種別	計	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
坑外　金屬山	一〇〇、〇〇	三三、九〇	三四、五六	三一、八八	三二、七八	三一、六六	三二、四七	一〇〇、〇〇	三一、六六	三二、四七	五八、一一	一〇〇、〇〇
坑外　石炭山	一〇〇、〇〇	五九、七五	五四、三一	五三、三三	六一、〇九	五八、七四	五八、一一	一〇〇、〇〇	五八、七四	五八、一一	六、六六	一〇〇、〇〇
坑外　石油山	一〇〇、〇〇	三、〇四	八、六四	一〇、一八	二、八三	六、四四	六、六六	一〇〇、〇〇	六、四四	六、六六	二、七六	一〇〇、〇〇
坑外　其他非金屬山	一〇〇、〇〇	三、三三	三、七〇	四、六一	三、二九	三、一六	二、七六	一〇〇、〇〇	三、一六	二、七六		一〇〇、〇〇
坑外　計	一〇〇、〇〇	三三、九〇	三四、五六	三一、八八	三二、七八	三一、六六	三二、四七	一〇〇、〇〇	三一、六六	三二、四七	三二、四七	一〇〇、〇〇

鑛種	年次	同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑外鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑外鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
金屬山	同十年	一七八	一	八	一七九	一六七四	〇・六〇	四・七八	一〇六・九三	三六〇、一四三	〇・〇三	〇・二二	四・九七
同十一年	一七〇	二	一二	一二	一六四	一七七四	〇・四五	五・一八	一一九・〇一	三〇四、五四九	〇・〇七	〇・三九	五・三八
同十二年	二一三	二	九	一一	二〇六	一一七八三	一・一五	五・四七	一一八・五三	四四五、四一一	〇・〇六	〇・二五	四・七六
同十三年	二二三	四	一三	一四	二一三	二一一五五	一・三九	六・〇三	六七・七五	四五四、五五五	〇・〇九	〇・二五	四・七六
同十四年	一五八	三	七	一四六	一四六	二一二九三	一・一八	三・八六	八八・五七	四九九、八七九	〇・一一	〇・二六	二・九四
昭和元年	二二四	五	七	九八	二〇三	二一二九二	〇・八六	三・八六	八七・一六	四五七、八八八	〇・一一	〇・一五	四・四八
平均	二〇四	二	九	一一	二〇三	二一二九九	〇・七〇	三・八六	一九四・九六	四五七、八八八	〇・一〇	〇・二〇	四・四三

(3) 坑外ノ災害數（鑛種別）

鑛種	年次	同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑外鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑外鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
金屬山	同十年	一五、四一五	七九	五五〇	一四、八七七	七八、七四三	一・〇〇	六・九八	一八八・九三	二一、一九四、〇六四	〇・〇四	〇・二六	七〇三
同十一年	一五、八九八	六二	四九九	一一、五二六	四、七三〇	七六、九七四	〇・八一	六・四八	一四九・七四	二〇、一九一、五〇三	〇・〇三	〇・三五	五・七二
同十二年	一二、一六〇	三三	二八三	一一、九七九	四、六九五	五三、〇三五	〇・六二	五・三八	二二五、八七	一六、四六九、〇二七	〇・〇三	〇・七	七・二七
同十三年	一〇、二四八	二五	一三三	一〇、〇二〇	四、六二一	四四、二二一	〇・五七	五・七三	二二、四四九、八八五	一二、四四九、八八五	〇・〇三	〇・二〇	八・〇五
同十四年	六、一九九	八	一六三	六、一一四	四、八二一	二五、四七七	〇・三一	六・四〇	二三、九九二、四二二	七、六六二、四六二	〇・〇一	〇・二一	七・七九
昭和元年	三、九二二	九	九八	三、八四六	四、六九五	二二、〇五四	〇・四一	四・四四	一七四、四六三	七、〇五四、四六三	〇・〇一	〇・一七	二・二〇
平均	五、四一五	七九	五五〇	一四、八七七	七、七四六	七八、七四三	一・〇〇	六・九八	一八八・九三	二一、一九四、〇六四	〇・〇四	〇・二六	七〇三

鑛種	年次	同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑外鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑外鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
金屬山	同十年	一七八	一	八	一七九	一六七四	〇・六〇	四・七八	一〇六・九三	三六〇、一四三	〇・〇三	〇・二二	四・九七
同十一年	一七〇	二	一二	一二	一六四	一七八三	一・一五	五・一八	一一九・〇一	三〇四、五四九	〇・〇七	〇・三九	五・三八
同十二年	二一三	二	九	一一	二〇六	二一一五五	一・三九	六・〇三	八八・五七	四四五、四一一	〇・〇六	〇・二五	四・七六
同十三年	二二三	四	一三	一四	二一三	二一一五五	一・三九	六・〇三	六七・七五	四九九、八七九	〇・〇九	〇・二五	四・七六
同十四年	一五八	三	七	一四六	一四六	二一二九三	一・一八	三・八六	八八・五七	四五七、八八八	〇・一一	〇・二六	二・九四
昭和元年	二二四	五	七	九八	二〇三	二一二九二	〇・八六	三・八六	八七・一六	四五七、八八八	〇・一一	〇・一五	四・四八
平均	二〇四	二	九	一一	二〇三	二一二九九	〇・七〇	三・八六	一九四・九六	四五七、八八八	〇・一〇	〇・二〇	四・四三

	年次	同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑外鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑外鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
金屬山	同十年	七八八三	三五	二六五	七七八五	一九、九四六	一・七五	一三・二九	三九〇・三〇	五、九八七、八七八	〇・〇六	〇・四四	一三・〇〇
同十一年	七、九八五	二三	一五一	五、四〇二	七、六五五	一八、〇三〇	一・二八	八・三七	一九九・六一	四、八七五、〇六六	〇・〇五	〇・三一	一一・〇八
同十二年	八、三五八	五二	三四七	七、六〇五	七、六五五	一八、四二二	二・八二	一八・八四	四〇・七七	五、三九五、五七九	〇・一〇	〇・六六	一四・五七
同十三年	九、五六五	四一	七六四	八、八七四	八、六〇五	二〇、四四一	二・一九	三四・二九	四〇・七七	五、七〇〇、三〇二	〇・〇八	一・二三	一四・〇九
同十四年	九、〇四三	五七	一六五	七〇一	八、八六八	二〇、九八六	二・七二	一七・八六	四三・二九	五、七四二、〇九四	〇・一〇	〇・二九	一五・四四
昭和元年	一一、一七五	七二	四八五	四八五	一〇、七一〇	三六、九三五	一・九五	一三・一三	二八九・九七	九、四九一、〇〇二	〇・〇八	〇・五一	一一・二八
平均	七八八三	三五	二六五	七七八五	一九、九四六	一八、〇三〇	一・七五	一三・二九	三九〇・三〇	五、九八七、八七八	〇・〇六	〇・四四	一三・〇〇

鑛種	年次	同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑外鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑外鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
石炭山	大正六年	一一五、三六九	九七一	三、四五九	一一三、八七九	一八七、五三八	五・一八	一八・四五	六〇七二六	四〇四〇三、二一一	〇・二四	〇・八六	二八・一九
同七年	二〇、七九四	六二五	四、九六〇	一一八、二四三	二一二、八一六	二五五、五一八	二・七七	一九・〇八	五五五・六一	四八、二六〇、〇六八	〇・一三	〇・八四	二四・五〇
同八年	一六一、八三六	七〇七	四、九〇八	一六五、九八五	二四九、七九一	二二、八〇	三・五一	一八・三二	六四六・六三	五七、八九八、三三八	〇・一二	〇・八三	二八・一四
同九年	一五一、七〇四	九四八	四、五七七	四、八五三	一四〇、二三九	一九二、五五四	三・〇一三	二五・二〇	七二八・三一	四三、一五一、二一八	〇・一七	〇・一三	三二・五〇
同十年	一四四、四四四	六〇一	五一二	五、四二五	一三五、七九九	一八〇、八九三	二・八三	二五・九九	七五〇・七一	四〇、七一六、三九〇	〇・一三	〇・二三	一・三五
同十一年	一五七、二二九	九四八	六一四	五、四一一	一四〇、四八一	二〇四、八九一	三・〇〇	二六・四一	七四四・〇六	四〇、一七九、九八五	〇・一五	〇・二六	一・三五
同十二年	一五六、一〇四	八〇一	六八一	五、五九八	一五三、一五四	一八二、七五九	四・三八	三・六七	二二・四三	四〇、五一五、二八三	〇・一七	〇・二〇	一八・九四
同十三年	一四六、九八八	六〇一	五一二	五、四二五	一三五、七九九	一七一、八二九	三・〇〇	二六・四一	七四四・〇六	四〇、一七九、九八五	〇・一三	〇・二〇	一七・一四
昭和元年	一三一、〇四一	六七五	四、〇七五	四、四五五	一四〇、三九四	二〇二、四二八	三・九三	二二・四九	六九三・五五	四四、六七八、八五〇	〇・一六	〇・二〇	一〇・二八
平均	一一五、三六九	九七一	三、四五九	一一三、八七九	一八七、五三八	五・一八	一八・四五	六〇七二六	四〇四〇三、二一一	四八、二六〇、〇六八	〇・二四	〇・八六	二八・一九

鑛種	年次	同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑外鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑外鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
非山	大正六年	三三二	三	一四	三一六	三四九、四四二	〇・八六	四・〇一	九〇・四四	六四九、四四二	〇・〇五	〇・二二	四・八七
同七年	一九一	二	二	四	二一一	二二七、一六	〇・七四	一・四七	八八・七三	四七四、七二一	〇・〇七	〇・三九	五・三八
同八年	一六五	二	八	八	一五八	三〇一七	〇・六六	二・六五	五二・三七	五五、三九三、五三八	〇・〇六	〇・二五	五・七六
同九年	二〇四	—	七	七	二〇三	二八一四	—	二四九	七一・七八	四七八、五四八	—	〇・一五	四・七六

鑛種	年次	同數	死傷人員 死亡	死傷人員 重傷	死傷人員 輕傷	坑外鑛夫數	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 死亡	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 重傷	鑛夫數ニ對スル死傷千分率 輕傷	坑外鑛夫延工數	延工數ニ對スル死傷萬分率 死亡	延工數ニ對スル死傷萬分率 重傷	延工數ニ對スル死傷萬分率 輕傷
非山	大正六年	三三二	三	一四	三一六	三四九、四四二	〇・八六	四・〇一	九〇・四四	六四九、四四二	〇・〇五	〇・二二	四・八七
同七年	一九一	二	二	四	二一一	二二七、一六	〇・七四	一・四七	八八・七三	四七四、七二一	〇・〇七	〇・三九	五・三八
同八年	一六五	二	八	八	一五八	三〇一七	〇・六六	二・六五	五二・三七	五五、三九三、五三八	〇・〇六	〇・二五	五・七六
同九年	二〇四	—	七	七	二〇三	二八一四	—	二四九	七一・七八	四七八、五四八	—	〇・一五	四・七六

石炭山

大正六年	一一、六七一	三七	三六五	一一、一三四	六二、六一六	〇・五九	五・八三	一七七・六五	一七、二七六、五五八	〇・〇二	〇・二一	六・四四
同七年	一六、二一九	五七	四四八	一五、八一九	七四、三四三	〇・七七	六・〇三	二一二・七八	二〇、九三三、〇三五	〇・〇三	〇・二一	七・五六
同八年	一九、四四六	五八	五九七	一九、三一一	九二、七二三	〇・六三	六・四四	二〇八・二七	二六、六一五、六六七	〇・〇二	〇・二三	七・二六
同九年	一七、〇〇六	四四	四二九	一七、二四九	九三、〇八二	〇・四七	四・六一	一八五・三一	二五、七〇四、五三三	〇・〇二	〇・一七	六・七一
同十年	一四、三九〇	四二	四四八	一四、〇六〇	七五、〇六〇	〇・五六	五・九七	一八七・三三	二〇、六〇〇、二八一	〇・〇二	〇・二三	六・八三
同十一年	一三、二九九	三五	四六二	一二、八七〇	六八、一二九	〇・五一	六・七八	一八八・九一	一九、三九五、一一六	〇・〇二	〇・二四	六・六四
同十二年	一五、〇八三	四九	四九一	一四、七七六	七三、八八〇	〇・六六	六・六五	二〇〇・〇〇	一九、八八三、四四〇	〇・〇三	〇・二五	七・六二
同十三年	一四、〇七四	三八	五一六	一三、六二七	六八、三一〇	〇・五六	七・五五	一九九・四九	一九、二〇五、四一七	〇・〇二	〇・二七	七・一〇
同十四年	一四、〇七六	四〇	三五八	一三、七六二	六七、一九九	〇・六〇	五・三三	二〇四・八〇	一九、四二〇、六八一	〇・〇二	〇・一八	七・〇九
昭和元年	一一、九八九	三七	二八七	一一、七五七	六三、二一五	〇・五九	四・五四	一八五・九八	一八、一四一、九二八	〇・〇二	〇・一六	六・四八
平均	一四、七二五	四四	四四〇	一四、四三六	七三、八五六	〇・六〇	五・九六	一九五・四六	二〇、七一七、六六五	〇・〇二	〇・二一	六・九七

石油山

大正六年	八四二	七	五一	七八五	七、六五二	〇・九一	六・六六	一〇二・五九	二、三八二、七九二	〇・〇三	〇・二一	三・二九
同七年	六九六	一三	七〇	六三二	八、〇六三	一・六一	八・六八	七八・三八	二、四三九、五四九	〇・〇五	〇・二九	二・五九
同八年	六八二	七	五五	六二一	七、八八三	〇・八九	六・九八	七八・七八	二、四六七、二五六	〇・〇三	〇・二三	二・五三
同九年	八五五	四	五八	七九三	八、六九四	〇・四六	六・六七	九一・二一	二、五八六、一七〇	〇・〇二	〇・二三	三・〇七
同十年	九三四	五	五六	八六六	一一、七七四	〇・四二	四・七六	七三・五五	二、五七九、一八九	〇・〇二	〇・二三	三・三六
同十一年	六二一	四	一一二	四九七	八、七〇四	〇・四六	一二・八七	五七・一〇	二、五六六、九八八	〇・〇二	〇・四四	一・九四
同十二年	八六七	九	一二七	七六一	七、四八五	一・二〇	一六・九七	一〇一・六七	二、二四八、三七六	〇・〇四	〇・五六	三・三八
同十三年	七四四	五	九四	六八九	三、九四〇	〇・七二	一三・五四	九九・二八	二、一二〇、三三九	〇・〇二	〇・四四	三・二五
同十四年	六三九	六	一〇六	五三一	七、三二〇	〇・八二	一四・四八	七三・五四	二、二二八、八九二	〇・〇三	〇・四八	二・三八
昭和元年	六〇九	六	一一四	五一三	六、四〇六	〇・九四	一七・八〇	八〇・〇八	二、一一七、六三〇	〇・〇三	〇・五四	二・四二
平均	七四九	七	八四	六六九	八、〇九二	〇・八七	一〇・三八	八二・六七	二、三七三、七一八	〇・〇三	〇・三五	二・八二

其他非金屬山

大正六年	二、三四九	七	六四	二、二七六	七、四〇二	〇・九九	八・六五	三〇七・四九	一、八六七、九五一	〇・〇四	〇・三四	一三・一八
同七年	一、三八一	二	六七	一、三三一	五、八二九	〇・三四	一一・四九	二〇九・四七	一、四五七、九〇七	〇・〇一	〇・四六	八・三八
同八年	七三三	九	二四	六七九	五、二一八	一・七二	四・六〇	一三〇・一三	一、三二二、九六三	〇・〇七	〇・一八	五・一三
同九年	六七四	二	二〇	六三七	五、九三六	〇・三四	三・三七	一〇七・三一	九一一、一三一	〇・〇二	〇・二三	六・九九
同十年	四三〇	二	二三	三九八	二、三三三	〇・八六	九・九〇	一七一・三三	六〇四、九三三	〇・〇三	〇・三八	六・五八
同十一年	一九一	—	一七	一七八	一、六七七	—	一〇・一四	一〇六・一四	四六四、三二八	—	〇・三七	八・八三
同十二年	四三三	—	三六	四一〇	二、四二三	—	一四・八六	一六九・二八	六一〇、八四九	—	〇・五九	六・七二
同十三年	七四九	五	七二	六七九	二、八七二	一・七四	二五・〇七	二三六・四一	八一七、〇六八	〇・〇六	〇・八八	八・三一
同十四年	七四六	五	三九	七〇七	三、一九二	一・五七	一二・二三	二二一・四九	九六三、七〇一	〇・〇五	〇・四〇	七・三四
昭和元年	六一九	二	一九	五九九	二、八九七	〇・六九	六・五六	二〇六・七七	八一七、八八八	〇・〇二	〇・二三	七・三三
平均	八一八	三	三八	七七八	三、九七七	〇・七五	九・五五	一九五・六二	九八三、八六二	〇・〇三	〇・三九	七・九一

事由	落磐	坑車ノタメ	器械ノタメ	發破又ハ爆發藥ノタメ	坑外車又ハ鑛空索道ノタメ
數	七・六	八・六	一・一	九・九	八・三
日計	九、四七四・八	三二・七	〇・五	二・一	一六・一
女計	六四、六三二・四	二二・三	一一・六	二二・〇	一二四・四
同數	三五・〇五	〇・〇三	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇六
死亡	四三・七五	一三・七七	〇・〇五	〇・〇三	一・四四
重傷	三七・五八	〇・六四	〇・〇四	〇・〇三	〇・一四
輕傷	三五・四〇	〇・〇三	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇五
計	三五・五七	〇・一二	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇六
總數ニ對スル百分率	一〇〇・〇〇	一三・六一	九・三一	一四・〇五	九・八四

事由	落磐	坑車ノタメ	器械ノタメ	發破又ハ爆發藥ノタメ	坑外車又ハ鑛空索道ノタメ
數	一一・三	一六・三	八・八	七五七・六	一七・八
日計	三、八八〇・〇	一六、四八七・七	二、八七三・四	二、八九五・〇	二八〇・四
女計	一六、四八七・七	二八〇・四	二〇・九	三三・一	四一・六
同數	九・一四	五四四・〇	〇・〇五	〇・〇一	〇・〇三
死亡	五・六九	一・四四	二・四九	一・五七	〇・六四
重傷	二・三八	〇・〇六	〇・〇八	〇・〇四	〇・一八
輕傷	八・九八	〇・〇五	〇・〇五	〇・〇一	〇・〇五
計	九・〇八	〇・〇五	〇・〇六	〇・〇二	〇・〇六
總數ニ對スル百分率	一三・五一	九・七五	一三・五一	一〇・〇〇	一〇〇・〇〇

第六表 事由別災害死傷比較（自大正六年至昭和元年十年間平均）

(1) 總計

事由＼種別	平均數												總數ニ對スル百分率				
	回數	死亡			重傷			輕傷			合計		回數	死亡	重傷	輕傷	計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
落盤	六二、四六五・四	三七・八	五三・九	五八〇・七	一九八・一	四一六・四	二、三二四・五	五三、九二一・七	九〇五・五	六二、九七二・二	一七、一四九・六	六四、六三二・四	二五・七	〇・〇三	一・六〇	〇・〇一	〇・〇二
瓦斯又ハ炭塵ノ爆發	六二・〇	九九・二	二〇・七	一二九・八	三・六	四・九	二・一	四六・九	七・一	五四・〇	一・八	二・一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
捲揚超過	八・二	〇・四		〇・四	〇・三	〇・五	〇・二	八・九	〇・三	八・二	〇・四	〇・五	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
捲揚竪坑ニ於テ鎖又ハ繩ノ切斷	九・六	一・七	〇・三	二・〇	一・九	一・四	三・三	一九・九	一・一	二一・〇	二・一	三・三	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
捲揚臺ニ因リ昇降中鎖索ノ切斷	九・六	一・七	〇・八	二・五	一・九	一・四	三・三	六六・一	一・四	六七・一	二・六	三・三	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
自働車道又ハ捲揚車道ニ於テ坑車逸走又ハ脫線其他	五六・三	四・九	〇・八	五・七	七・三	一一・〇	一八・八	二四・〇	一・四	二五・四	一・四	二・四	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
坑車（前項以外ノ）ノ爲	三七四・八	五一・五	八・三	五九・八	一九・三	二六・三	四五・六	二一三・〇	六九・〇	二八二・〇	二三・〇	二六・三	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
發破又ハ爆發藥ノ爲	二七七・四	二二・〇	二・二	二四・二	一・八	二・二	四・〇	二三・〇	一・二	二四・二	二・二	四・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
瓦斯ノ中毒又ハ窒息	二六、二六六・九	四四・七	四九・五	九四・二	一九・六	二四・四	四三・〇	二四二・八	七六・二	三二四・〇	二四・四	四三・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
水ノ爲	八八・三	一八・七	二〇・九	三九・六	一・五	二・七	四・二	一七・〇	一・四	一八・四	一・八	二・七	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
出水ノ爲	二四・〇	二〇・一	一三・六	三三・七	一・四	二・四	三・八	二四・七	〇・四	二五・一	一・四	二・四	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
器械ノ爲	五三・八	五・〇	〇・六	五・六	二・四	九・九	一二・三	九・九	〇・九	一〇・八	二・四	一二・三	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
電氣ノ爲	一二・七	一三・九	〇・八	一四・七	九・九	二・四	一二・三	一・〇	〇・〇一	一・〇	〇・〇一	二・四	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
其他	六七、四六八・六	五六・五	一四・九	六八四・六	六二・七	四、〇五四・六	九九三・六	三三六・一	一、四四八・三	五、四八〇・一	一、二二〇・〇	六、二〇四・六	一二・一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
計	一三五、九六八・三	七六・六	一二・五	八七・一	四七二・五	一、一〇〇・八	五八、八三・三	一四六、一五七・〇	二八、七二七・五	一三四、九五二・一	二五、一四六・七	二八、七二七・五	一二・一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
器械ノ爲	一四九・〇	九・三	一・二	一〇・五	八六・五	七・五	一四・四	一、三五・四	九四・〇	一、四二九・四	一四・九八・八	一、四二九・四	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
汽罐破裂ノ爲	九・三	〇・八	〇・一	〇・九	〇・八	〇・二	一・〇	四・一	〇・一	四・二	〇・一	一・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
爆發藥ノ爲	二九・七	〇・九	〇・二	一・一	三・六	一・〇	四・六	一四・四	二・一	一六・五	二・一	一・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
鎖車又ハ架空索道ノ爲	四二三・七	一五・八	一・八	一七・六	一七・六	二四・四	一九八・八	一九六・八	八・三	二〇四・〇	一九・八	二四・四	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
熱灼融熔物ノ爲	八五三・三	一・九	〇・一	二・〇	二九・三	一・五	三〇・八	二九六・三	一・〇	二九七・三	二九・三	三〇・八	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
劇物ノ爲	二七・一	〇・三	—	〇・三	〇・三	〇・六	〇・九	一・九	〇・六	二・五	一・九	〇・九	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
電氣ノ爲	八六・四	五・四	〇・二	五・六	四三・二	九・〇	五三・三	一七・〇	〇・六	一七・六	四三・二	五三・三	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
其他	二四、一六〇・九	七・〇	九・一	八一・一	七七・九	一、〇七・三	八五五・二	四六八・〇	八五・二	五四、八三・二	七七・九	八五五・二	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
計	一八、三九一・三	七六・六	一二・五	八七・一	四七二・五	一、一〇〇・八	五八、八三・三	一四六、一五七・〇	二八、七二七・五	一三四、九五二・一	二五、一四六・七	二八、七二七・五	一二・一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5

事由	種別	平均數 回數	死亡 男	死亡 女	死亡 計	重傷 男	重傷 女	重傷 計	輕傷 男	輕傷 女	輕傷 計	合計 男	合計 女	合計 計	總數ニ對スル百分率 回數	死亡	重傷	輕傷	計
落盤	坑内	一、三四〇	三一・七	〇・五	三二・二	七二・四	〇・九	七四・三	一、三五〇	二七・一	一、三七・一	一、三二一	二八・五	一、三五九・六	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
瓦斯又ハ炭塵ノ爆發	坑内	〇・二	〇・二		〇・二	〇・二		〇・二	〇・二		〇・二	〇・二		〇・二	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
捲揚超過	坑内	二・八	〇・二		〇・二	〇・三		〇・三	二・四		二・四	二・九		二・九	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
捲揚墜坑	坑内	一・五	一・五		一・五	〇・五		〇・五	〇・九		〇・九	一・四		一・四	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
鑛又ハ繩ノ切斷	坑内	二・四	四・四	〇・二	四・六	三・三	〇・二	三・五	一四・九	〇・五	一五・四	三・六	〇・八	三・四	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
自働車道又ハ捲揚車道ニ於テ鑛索ノ切斷	坑内	一・二	〇・二		〇・二	〇・六		〇・六	〇・七	〇・〇	〇・七	一・一	〇・〇	一・一	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
捲揚索ニ因リ昇降中ニ於テ坑車逸走又ハ脱線	坑内	六五・五	〇・六		〇・六	一・六		一・六	〇・六		〇・六	一・一		一・一	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
其他	坑内	六四・七	二・二	〇・三	二・五	四・一	〇・三	四・四	一・三		一・三	六・四	〇・三	六・七	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
坑車（前項以外ノ）ノ爲	坑内	九七・三	二・五		二・五	四一・八		四一・八	四五・二	〇・八	四五・二	八五・一	〇・八	八六・九	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
發破又ハ爆發藥ノ爲	坑内	七一・〇	九・一	〇・三	九・四	二六・五	〇・六	二七・一	四六・〇	一・六	四七・六	五七・三	一・八	五九・一	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
瓦斯ノ中毒又ハ窒息	坑内	一六・五	一・三		一・三	〇・四		〇・四	一四・八	〇・六	一五・四	一六・〇	〇・六	一六・六	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
出水ノ爲	坑内	二・〇	〇・三		〇・三	〇・三		〇・三	一・四		一・四	一・七		一・七	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
器械ノ爲	坑内	五二・四	〇・五	〇・五	一・〇	四・九	〇・三	五・二	八六・九	〇・四	八七・三	九〇・三	〇・七	九〇・〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
電氣ノ爲	坑内	二四・八	一・九	〇・五	二・四	三・三	〇・三	三・六	二一・〇	〇・三	二一・三	二四・九	〇・七	二五・六	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
其他	坑内	八、五九九・七	二四・三	一・二	二五・五	三二〇・〇	七・九	三二七・九	七九、九九〇・三	二八〇・六	七、九七〇・九	八、二五五・九	二九二・三	八、五四八・二	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
計	坑内	一二、一六八・八	七二・二	二・二	七三・三	四七一・二	一四・四	四八五・六	一〇、三四九・三	三五〇・六	一〇、七九九・五	一〇、八九〇・七	三七六・七	一二、二六七・四	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
器械ノ爲	地表	三九・八	二・六		二・六	三二・六	〇・二	三三・八	三五・〇	一・六	三五・六	三四・八	一・七	三六・五	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
汽罐破裂ノ爲	地表	一・五				〇・二		〇・二	〇・一	一・六	一・七	一・七	一・六	三・三	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
爆發藥ノ爲	地表	一〇・三	〇・五		〇・五	一・九	〇・二	二・一	二・四	〇・八	二・四	八一・九	七・七	八九・六	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
鑛車又ハ架空索道ノ爲	地表	九二・八	四・一		四・一	三七・〇	〇・九	三八・九	七九・三	六・八	八六・一	八六・一	八・九	九五・〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
熱灼融熔物ノ爲	地表	六二・一	〇・九		〇・九	三二・三	〇・四	三二・七	五四・四	一・四	五五・八	六〇・〇	一・三	六一・三	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
電刷ノ爲	地表	三二・〇	一・二		一・二	一・三	〇・四	一・七	三・〇		三・〇	三・二	〇・九	四・一	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
其他	地表	三六・三	二四・四	二・四	二七・八	二五・七	一・二	二六・九	二六・一	〇・三	二六・四	二七・二	一・二	二八・四	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
計	地表	五六、九七一・七	二五四・六	二八・二	二七二・四	三二七・九	二六・四	三五四・七	二四六・四	一四・七	二六〇・一	二七一・二	一九・六	二九〇・八	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
總計		一九、一四一・五	九四八	四・九	九九・七	六九・一	七四・八	七四八・三	一七、三六三・三	一、三九・一	一八、四五六・四	一八、〇二〇・三	一、三九二・一	一九、四五二・三	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇

事由	種別	平均數												總數ニ對スル百分率				
		回數	死亡			重傷			輕傷			合計		回數	死亡	重傷	輕傷	計
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女					
坑内	落盤	六一、二三〇	三三二・八	五二・三	三五六・〇	一、八三・八	四一五・三	二、二四八・二	五一、六〇三	八九八・〇	五四、〇八一	五二、九七七・九	八、二〇七・七	〇・三四	〇・〇二	〇・〇五	〇・二四	〇・二五
	瓦斯又ハ炭塵ノ爆發	六一・〇	九九・〇	二〇・七	一二九・七	三・六	四・九	三七・五	一・八	〇・二	一・〇	一・六	〇・〇二	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	捲揚竪坑	五四	〇・二		〇・二	一・五	〇・三	一・八	六・〇	七・〇	一三・〇	七・八	一・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	捲揚超過	八・二	一・三	〇・七	一・六	〇・二	〇・〇	〇・二	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	〇・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	鑛又ハ繩ノ切斷	七八・二	七・三	〇・七	八・〇	一一・六	一・七	一三・〇	七・一	一・〇	八・一	七・七	一・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	捲揚臺ニ因リ昇降中ニ於テ鎖索ノ切斷	五七・〇	四・八	〇・八	五・六	一九六・七	六・七	二〇二・四	一九・九	一・〇	二〇・九	二四八・〇	二・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	自動車道ハ又捲揚車道ニ於テ坑車逸走又ハ脱線	三六八・三	五〇・九	八・三	五九・二	一九六・七	五七・一	二五三・八	二〇〇・一	二・〇	二〇二・一	三・八〇九・九	二・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	其他	二、七〇〇・九	一六・四	二・〇	一八・四	七九・三	二〇・八	一〇〇・一	六八・四	一〇・〇	七八・四	三、〇二一・一	一〇・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	坑車（前項以外ノ）ノ爲	一五、三一〇・五	四二・二	四・八	四七・〇	五七・一	五三・三	一〇九・四	一三・〇	一・〇	一四・〇	一、二三九・九	一・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	發破又ハ爆發藥ノ爲	二八一・七	九・五	〇・七	一〇・二	二・六	〇・四	二・〇	一・九	〇・一	二・〇	二六・六	〇・二	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	瓦斯ノ中毒又ハ窒息	六六・六	一八・二	一・五	一九・七	一・四	〇・二	一・六	一・九	〇・一	二・〇	一四・七	〇・一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	用水ノ爲	二・九	九・七	三・六	一二・三	一九・七	三・四	二三・一	一二・九	〇・二	一四・一	三五・九	〇・二	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	機械ノ爲	四七・三	四・五	〇・六	五・一	一九・八	一・一	二一・九	一一・二	〇・二	一三・四	一四〇・〇	〇・二	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	電氣ノ爲	八六・三	一一・九	〇・八	二・七	七・六	〇・九	八・五	一・〇	〇・〇	一・〇	一四・九	〇・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	其他	五八、七五五・五	三一・七	五・二	三六・九	三五、八九四・八	九八・八	三、九八七・七	一、三三・五	一・〇	一、三三・五	四、九九九・一	一・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	計	二四二、五九五・〇	六一・四	一二・一	七三・五	三五、九八六・五	九七・八	三六、五八三・三	一四、三七〇・九	二・〇	一四、三七二・九	四、九九六・一	二・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
地表	器械ノ爲	八四七・〇	四・〇	一・三	五・二	三四・九	三・九	三七・八	五一・九	八・九	六〇・八	一、〇二一・一	八・九	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	汽罐破裂ノ爲	七・七	〇・八	〇・一	〇・九	〇・七	〇・二	〇・九	〇・四	〇・〇	〇・四	一・三	〇・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	爆發藥ノ爲	二一・六	一一・五	〇・二	一一・七	一三・四	一・〇	一四・四	二〇・五		二〇・五	六六・九	一・〇	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	鑛車又ハ架空索道ノ爲	三、一九七・四	二一・九	一・五	二三・四	一九二・二	五・〇	一九七・二	一四二・八	四・八	一六二・〇	二四八・〇	四・八	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	熱灼融熔物ノ爲	二六・六	〇・九	〇・一	一・〇	六・一	〇・四	七・五	一四・九	〇・六	一五・七	二四・一	〇・六	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	削物ノ爲	九・七	五・二	〇・二	五・四	四・二	〇・四	四・六	二・八		二・八	一四・九		〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	電氣ノ爲	五九・三	一七・九	二・九	二〇・八	一八・八	四・二	二三・〇	一二・九	〇・四	一三・三	五一・四	〇・四	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	其他	一〇、五六〇・一	一七・九	六・〇	二四・七	四二・七	一・〇	四三・七	三二・九	〇・九	三三・八	一四〇・〇	〇・九	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
	計	一四、七五五・三	一七・九	六・〇	二四・七	四二・七	一・〇	四三・七	三二・九	〇・九	三三・八	一四〇・〇	〇・九	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
總計		一五七、三〇三	六四九・一	一〇八・一	七七五・二	三、八四六・五	一八、三一七	三七、一六三・五	一、〇一八・一	一八・〇	一、〇三六・一	一四、一七〇・六	一八〇・六	〇・四一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一

事由	種別	平均數												總數ニ對スル百分率				
		回數	死亡			重傷			輕傷			合計						
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	回數	死亡	重傷	輕傷	計
坑内 落盤 瓦斯又ハ炭塵ノ爆發		〇・一	〇・一		〇・一							〇・一		〇・一	〇・〇一	一・五五			〇・〇一
坑内 捲揚竪坑 捲揚超過																			
坑内 捲揚竪坑 鎖又ハ繩ノ切斷																			
坑内 捲揚鑒ニ因リ昇降中ニ於テ 鎖索ノ切斷																			
坑内 自働車道又ハ捲揚車道ニ於テ 坑車逸走又ハ脱線																			
坑内 自働車道又ハ捲揚車道ニ於テ 其他																			
坑内 坑車（前項以外ノ）ノ爲																			
坑内 發破又ハ爆發藥ノ爲																			
坑内 瓦斯ノ中毒又ハ窒息		〇・三	〇・三		〇・三							〇・三		〇・三	〇・〇四	四・六六			〇・〇四
坑内 出水ノ爲																			
坑内 機械ノ爲																			
坑内 電氣ノ爲																			
坑内 其他		〇・八	〇・八		〇・八										〇・一二	一〇・八二			〇・〇四
坑内 計		〇・三	〇・三		〇・三							〇・三		〇・三	〇・〇四	四・六六			〇・〇四
地表 器械ノ爲		二三五・六	二・五		二・五	二七・七		二七・七	一・二		一・二	三八・八		三八・八	三一・四七	三五・七八	三四・一六	三一・九九	三一・四七
地表 汽罐破裂ノ爲		〇・一				〇・一		〇・一				〇・一		〇・一	〇・〇一			〇・〇一	〇・〇一
地表 爆發藥ノ爲		二・二													〇・九			〇・二	〇・二
地表 鎖車又ハ架空索道ノ爲		〇・三							〇・三		〇・三	〇・三		〇・三	〇・〇四	〇・八五		〇・二四	〇・〇四
地表 熟灼融熔物ノ爲		六・四	〇・一		〇・一	〇・三		〇・三	六・〇		六・〇	六・四		六・四	〇・八五	一・五五	〇・五六	〇・九〇	〇・八四
地表 削物ノ爲		三・八	〇・二		〇・二	〇・三		〇・三	三・四		三・四	三・九		三・九	〇・四七	一・五五	〇・四七	〇・三一	〇・四七
地表 電氣ノ爲		一・八	〇・二		〇・二	〇・八		〇・八	〇・四		〇・四	一・二		一・二	〇・二四	二・七〇	〇・五六	〇・二三	〇・二四
地表 其他		一四・六	一七・二		一七・二	五三・七		五三・七	四三・九		四三・九	一四・六		一四・六	六六・八九	八九・九〇	六三・九四	六六・五一	六六・八九
地表 計		七四三・四	七・三	〇・二	七・四	八一・九	二・四	八四・三	六五四・二	一四・六	六六八・八	七四三・四	一七・二	七六〇・五	一〇〇・〇〇	九九・八九	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
總計		七八八・七	七・三	〇・二	七・四	八一・九	二・四	八四・三	六五四・二	一四・六	六六八・八	七四三・四	一七・二	七六〇・五	一〇〇・〇〇	九九・八九	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

事由＼種別	平均數 回數	死亡 男	死亡 女	死亡 計	重傷 男	重傷 女	重傷 計	輕傷 男	輕傷 女	輕傷 計	合計 男	合計 女	合計 計	總數ニ對スル百分率 回數	死亡	重傷	輕傷	計
坑内 落瓦斯又ハ炭塵ノ爆發	一九・三	一・三	〇・三	一・四	一・九	〇・三	二・一	一六・四	〇・四	一六・八	一九・五	〇・八	二〇・三	一・九九	二四・一四	四・四二	一・七二	一・九六
坑内 捲揚超過	〇・七							〇・八		〇・八	〇・八		〇・八	〇・〇七			〇・〇八	〇・〇八
坑内 捲揚竪坑鎖又ハ繩ノ切斷																		
坑内 捲揚臺ニ因リ昇降中ニ於テ鎖索ノ切斷																		
坑内 自動車道又ハ捲揚坑車逸走又ハ脱線	〇・二																	
坑内 車道ニ於テ其他	一・六																	
坑内 坑車（前項以外ノ）ノ爲	二・四				〇・一			二・四		二・四	二・五		二・五	〇・二四		三・八四	〇・二七	〇・二七
坑内 發破又ハ爆發藥ノ爲	三九・二				二〇・〇	〇・二	二〇・二	三六・六	一・五	三八・一	三八・六	一・五	四〇・一	三・八四	一・四五	四・五三	〇・二六	〇・二六
坑内 瓦斯ノ中毒又ハ窒息	二・三				〇・二		〇・二	一・八		一・八	二・四		二・四	〇・〇二	〇・〇九	〇・二六	〇・〇五	〇・〇五
坑内 出水ノ爲	二・八				〇・四		〇・四	二・二		二・二	二・二		二・二	〇・〇四	〇・〇九	〇・二七	〇・〇五	〇・〇五
坑内 瓦斯ノ爆發ノ爲	二・三				〇・一		〇・一	一・一		一・一	二・二		二・二	〇・〇四	〇・〇九	〇・二七	〇・〇五	〇・〇五
坑内 電氣ノ爲	一・一				〇・一		〇・一	〇・五		〇・五	一・六		一・六	〇・〇六	〇・一七	〇・五四	〇・一六	〇・一六
坑内 機械ノ爲	〇・六				〇・一		〇・一	一・一		一・一	一・二		一・二	〇・〇六	〇・一七	〇・五四	〇・一六	〇・一六
坑内 器械ノ爲	一・一													〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一
坑内 其他	二二・七	二・三	〇・三	二・四	八・六	〇・八	九・四	二七・三	一・一	二八・四	二九・九	一・一	三〇・一	一九・九八	四一・六五	七二・九五	一三・九六	一三・九六
坑内 計	二二・七	二・三	〇・三	二・四	八・六	〇・八	九・四	二七・三	一・一	二八・四	二九・九	一・一	三〇・一	一九・九八	四一・六五	七二・九五	一三・九六	一三・九六
地表 汽罐破裂ノ爲	八・六	〇・二		〇・二	一・四		一・四	六・九	〇・一	七・〇	八・五	〇・一	八・六	〇・八四	三・六二	四・四二	〇・七一	〇・八五
地表 機械ノ爲																		
地表 器械ノ爲																		
地表 爆發藥ノ爲	五・六	〇・一		〇・一	〇・六	〇・一	〇・六	四・九	〇・一	四・九	五・六	〇・一	五・六	〇・五七	一・七三	一・六六	〇・五四	〇・五四
地表 鐵車又ハ架空索道ノ爲	一〇三・二	〇・二		〇・二	五・二	〇・一	五・三	九・二	〇・二	九・四	九・六	〇・二	九・八	一〇・〇三	三・四五	一・一六	九・九四	九・九四
地表 燒灼礦物ノ爲	九・一				〇・六		〇・六	八・五	〇・四	八・九	八・九	〇・四	八・九	〇・八九	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
地表 削物ノ爲	〇・六							〇・六		〇・六	〇・六		〇・六	〇・〇六				
地表 電氣ノ爲	〇・二							〇・二		〇・二	〇・二		〇・二	〇・〇二	〇・〇二	〇・〇二	〇・〇二	〇・〇二
地表 其他	六八九・七	二七・七	〇・二	二九・四	二八・六	一・六	二〇・二	三三・二	四二・一	七五・三	七七五・四	四四・一	八二九・五	六四・六二	五六・六四	六二・六四	五九・九六	六〇・九六
地表 計	八一六・〇	三・三	〇・二	三・五	五六・五	一・七	五七・二	三六・六	一・八	三八・四	七七五・八	四四・一	八二九・九	八〇・〇三	五八・六三	八〇・三	五九・二四	五九・二六
總計	一〇一九・七	五五・四	〇・四	五五・八	四五〇・〇	二・五五	四五二・五	一九八・一	一・五	一九九・六	二四〇・六	二・五	二四二・一	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

第七表　事由別中主なる傷害死傷累年比較（自大正六年至昭和元年十年間）

(1)　金屬山

事由＼年次	大正六年			大正七年			大正八年			大正九年			大正十年			大正十一年			大正十二年			大正十三年			大正十四年			昭和元年		
	實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合		實數	總數ニ對スル割合	
落磐																														
同數	三、一五〇	九・三%		二、六五三	八・〇%		二、二七三	八・四五%		一、六三五	七・〇九%		七四九	五・三%		五三一	五・六五%		四六〇	三・五〇%		五二四	三・九七%		七三三	五・二%		一七	二・三七	
死亡	四四	一九・七三		五五	二五・九四		三六	二五・〇〇		二六	二六・〇〇		一三	二七・九一		七	二一・八八		一三	一七・九一		三〇〇	一四・〇〇		二五	八・五三		一	二・〇〇	
重傷	一八八	一四・七五		二五八	二三・六二		一三〇	一五・二七		八三	一二・二四		四九	一一・四五		三七	一四・八六		二三	一四・七四		三一	一四・一四		二二	一一・四五		一	一・〇〇	
輕傷	二、九四五	八・九九		二、四八一	八・八六		二、一二六	八・一一		一、五六五	七・〇一		七三	五・〇五		五九〇	六・三八		四三〇	三・三八		四九〇	四・〇一		六九二	五・〇五		一七〇	五・五七	
器械ノタメ																														
同數	一、一六四	三・四一		一、〇一八	三・〇八		七七四	二・八八		四四四	二・〇一		三三六	二・三三		二四九	二・六五		二三九	一・七四		一五五	一・七七		一四四	一・一一		一一	〇・〇八	
死亡	八	三・五九		七	三・〇〇		三	二・〇八		四	四・〇〇		二	四・六五		一	三・三三		一	二・二七		一	一・一一		一	〇・一一		一	〇・一一	
重傷	七一	五・五七		五六	四・五六		四〇	五・〇九		三六	四・七九		二六	六・〇七		二三	四・八二		一一	二・二七		一一	一・七一		一一	〇・一一		一	〇・〇九	
輕傷	一、〇八九	三・三二		九六九	三・四六		七三三	二・七九		四三一	一・九三		二二〇	一・一九		二二七	二・五八		二八	一・一一		一一	一・一一		一一	〇・一一		一	〇・〇九	
坑車ノタメ																														
同數	一、八〇〇	五・二七		一、五七〇	四・七五		一、四一二	五・二五		一、六七七	五・一六		六九二	四・九一		三九四	四・一九		七三二	五・五七		四四八	四・九一		四一一	四・〇〇		一一	〇・〇八	
死亡	五	二・二四		三	一・四三		六	四・一七		四	四・〇〇		三	五・八四		一	三・一三		三	五・五四		一	二・二二		一	一・一一		一	〇・〇九	
重傷	八八	六・九〇		六八	五・五四		五一	六・四九		四四五	五・九八		二二	五・八四		二二	四・四三		二八	五・五六		二一	四・八二		二一	四・〇〇		一一	〇・〇九	
輕傷	一、七七七	五・二〇		一、五七〇	五・三八		一、三六〇	五・一九		一、一二二	五・〇一		六六八	五・〇二		三九四	四・二六		七〇六	三・四六		四〇〇	三・四〇		四〇〇	三・〇〇		一一〇	〇・九八	
發破又ハ爆發ノタメ																														
同數	二〇一	〇・五九		一六八	〇・五一		一一〇	〇・四一		一一一	〇・四一		三六四	二・〇一		三三九	二・六五		二四九	一・七四		三七	二・二七		二二七	一・六七		五七	〇・四〇	
死亡	三	一〇・三一		八	八・四九		三	八・三三		九	九・〇〇		二	四・〇〇		二	四・六五		一	二・二七		三	六・九八		二	一・四七		三	一・〇〇	
重傷	七一	五・五七		一八	一四・〇九		四〇	五・〇九		三六	四・七九		二六	六・〇七		二三	四・八二		一三	二・二七		二三	五・七七		二二	一・四七		二	一・〇〇	
輕傷	一四四	〇・四四		六四	三・二二		八〇	二・七九		四三一	一・九三		二二〇	二・一六		二二七	二・五八		二八	一・一一		二〇	〇・〇〇		一八	〇・一一		一一	〇・〇九	
藥ノタメ																														
同數	一、九一八	五・六一		一、二〇四	三・六四		一六五一	六・一四		一、四五九	六・一四		三三六	一・一一		四四一	一・六一		四三一	一・一一		一一一	〇・一一		一一一	〇・一一		一一	〇・〇九	
死亡	八	三・五九		一三	六・一三		六	四・一七		二	二・〇〇		二	二・〇〇		二	一・一一		一	一・一一		一	一・一一		一	一・一一		一	〇・〇九	
重傷	一一三	八・八六		七九	六・四三		四八	六・一一		三八	五・五五		二六	四・四四		二六	四・七九		二四	三・三三		二五	三・三三		二五	三・三三		二	〇・〇九	
輕傷	一、八〇四	五・五一		一、一一三	三・九七		一、〇九九	六・一三		一四四八	六・一一		一〇一一	一・九三		三三〇	二・一六		二二〇	一・一六		二〇〇	一・一〇		一九九	一・〇九		一一〇	〇・〇九	

年次	熱焙融ノタメ 回数	死亡	重傷	輕傷	電氣ノタメ 回数	死亡	重傷	輕傷
大正六年	一、三七五	六	四八	一、三四	七九一	六	二一	六三
	四・〇三	二・六九	三・七六	四・〇四	二・三二	二・六九	〇・八六	〇・二九
大正七年	九七〇			九六六	七四	五	二三	五二
	二・九三		二・七七	三・三四	〇・三三	二・五六	〇・九六	〇・二八
大正八年	九五		四八	八九三	七六	一	三	七三
	三・四四		六・一一	三・四〇	〇・二八	〇・六九	〇・三八	〇・二八
大正九年	九五五		九	九六八	大	二	四	七二
	四・八六		一・二〇	四・一五	〇・三四	二・〇〇	〇・五三	〇・二三
大正十年	六一八		一五	六四	四三	一	二・三二	二四
	四・三九		三・五〇	四・三五	〇・三一	二・三三	〇・四〇	〇・一九
大正十一年	四五八		一	四四七	二五	一	二	二四
	四・八七		三・三二	四・八三	〇・七〇	三・二五	〇・四〇	〇・〇六
大正十二年	三・〇四	一	一八	三九〇	三五	一	二	三
	一・四九	一・四九	三・七一	三・〇七	〇・七〇	一・四九	〇・四〇	〇・二五
大正十三年	二五五		一	二九	三七	一	八	二九
	一・九三		一・九六	二・〇五	〇・二八	〇・六九	〇・六〇	〇・二四
大正十四年	二四		三	七三	二三	二	三	七
	一・四一		一・五五	一・四三	〇・二二	〇・九二	〇・三三	〇・〇〇
昭和元年	一七一		一	三	二三	一		三
	一・三三		一・三三	一・三六	〇・一七	〇・三三		〇・一六

年次	落磐 回数	死亡	重傷	輕傷	坑車ノタメ 回数	死亡	重傷	輕傷	坑外鑛車又ハ架空索 回数	死亡
大正六年	五四、三三	三〇三	三〇	五三、七六六	二五、六六六	九五	七五	二五、〇六三	三、〇五三	一四
實數	三〇・〇六	三〇三	四七・九三	四三・〇二	一三・三三	一七・五五一	一八・四四	二二・〇五	二・四〇	一・三九
總數ニ對スル割合	四一・七六%	四七・九三	二二・二七	五五、六五四	一七、〇七三	一〇三	八一九	一七、〇七三	三、五一四	一四
大正七年 實數	五四、〇五九	三一〇	三〇	二、二七三	一四	一四・九六	一八・一七	二二・七三	二・五六	四・八〇
總數ニ對スル割合	三九・四%%	四五・四五	五〇・四〇	四一・五一〇	二二・八一	二三、三三〇	二二・三三	二一、八八二	二・〇五	一・五七
大正八年 實數	七〇、四三五	三九〇	五〇・九八	七四、三六四	二、六七五	一三	一七・一三	四〇、三〇六	一六	三、五〇
總數ニ對スル割合	三八・八五%	四八・五九	四〇・三〇六	四〇・三〇六	六五、八二一	一八、〇〇	八六	二九、三九	一六	二・〇二
大正九年 實數	六五、六六八	三七	三一・九六	二、二〇二	一一・一五	一〇八	一〇・八九	一七・五〇	一〇	一・六二
總數ニ對スル割合	三八・九%%	四三・九七	二、二七三	五八、九八六	一八、一〇五	七三	二一・三五	一六、四一三	一〇	一・五六
大正十年 實數	六〇、〇三三	三四九	五四・二八	四二・二〇	二、五一九	八六	一、一七	一〇、六四一	二八二	七
總數ニ對スル割合	三八・四三%	五八、九二	三一	三八・一九	五六、七三	一〇	一〇	一七、四九七	一・二八	一・二八
大正十一年 實數	六五、八九〇	三八一	六〇・五一	四二・七九	三八・一四	二〇、〇七〇	一五・七三	一一・七七	三、一九	一・八三
總數ニ對スル割合	三八・三%%	三六一	四五・四五	四四、四六六	六三、五九三	一〇六	一四・九六	一九、五六八	一六	二・四三
大正十二年 實數	六五、八〇六	三六一	五四・四五	七五・六七	三八・五一	一五・九〇	一一・九〇	一八、六四一	一・八二	二、九〇
總數ニ對スル割合	三八・二%%	三六九	四二・九八	四三・九八	二、七三	一三	一七・一三	一八・〇〇	二、九〇	一五
大正十三年 實數	六〇、八五〇	三七・九%%	四〇・五〇	三七・五八	六三、四二六	二二・三五二	二一、六八四	二九、三九	三、八〇	一・八一
總數ニ對スル割合	三七・九%%	四〇・五〇	二、〇一六	六三、四二六	二、〇一六	一四・四三	一二・八	一七・五〇	二・〇二	一五六
大正十四年 實數	六五、三七〇	四〇五	三八・九六	四〇・二九	五六・七〇	一〇八	一〇・八九	一七・五〇	二・〇二	一・八六
總數ニ對スル割合	三八・九%%	四三・九七	三八・九六	四〇・二九	五六・七〇	一〇八	一〇・八九	一七・五〇	二・〇二	一・八六
昭和元年 實數	六八、二九	四一五	五四、五三	五二、九九二	五七・八七	一、五四三	一一・九〇	一九、四三	二・八六	二
總數ニ對スル割合	三八・二%	四一五	五四、五三	五二、九九二	五七・八七	一、五四三	一一・九〇	一九、四三	二・八六	二

備考

一、本表ニ於テ總數ニ對スル割合ト稱スルハ其鑛種別鑛山ノ總災害數ニ對スル割合ヲ云フ

二、本表ニ「坑車ノタメ」トセルハ第六表ニ示ス「自働車道又ハ捲揚車道ニ於テ坑車ノ逸走又ハ脱線」ニヨルモノヲモ含ム

(2) 石炭山

年次	道ノタメ 重傷	輕傷	器械ノタメ 回数	死亡	重傷	輕傷	瓦斯又ハ炭塵爆發 回数	死亡	重傷	輕傷	發破又ハ爆發ノタメ 回数	死亡	重傷	輕傷	熱焙融ノタメ 回数	死亡	重傷	輕傷	電氣ノタメ 回数	死亡	重傷	輕傷
大正六年	二九	二、九一九	三七	三三	一〇五	六	一、三三三	四五	二〇	四	一九	二	三六	八九	二〇七	一	一	一、二九九	七三	〇・〇六	二	六五
實數	三七	二、三四	一・〇五	〇・〇六	一・六三	〇・〇四	四・一七	〇・五三	〇・〇三	〇・九四	〇・〇九	二五〇	二・〇九四	〇・〇七	〇・一六	—	〇・二六	一・九九	一・〇九	〇・〇二四	〇・〇五	〇・〇五
總數ニ對スル割合	一五九	三、四二四	一六八七	一六六	一、六七七	一四四	四四七	二五〇	二四一	一九一	二五〇	一八一	三八四	二〇〇	二三八	—	二二	三三一	九六	一六	二一	六六
大正七年 實數	三・三七	二・三五九	二・〇五一	一・九三	一・六七七	六七七	〇・〇三	〇・〇三	〇・〇三	〇・〇三	〇・一八	二七〇	〇・二四	〇・一五	〇・二四	—	〇・二七	三三二	〇・〇六	〇・〇二	〇・二四	〇・〇九
總數ニ對スル割合	四・三〇	三・五五	一・七九一	〇・九九八	一・七七一	一七五	九五	一七〇	二三	二二	二七〇	二五	三三三	二二	三八	二二	二二	二二	二一〇	一四	一八	一六七
大正八年 實數	二三一	四一九五	六	〇・七八	〇・九九八	〇・〇五	〇・〇五	〇・〇五	〇・〇四	〇・〇三	〇・〇五	〇・〇二	〇・八六	〇・二五	〇・二六	〇・二二	〇・一一	〇・〇九	〇・一一	〇・〇四	〇・〇三	〇・〇九
總數ニ對スル割合	二・三三	二・三五	一・六三	一・五六	一・〇三	一・五五	一・四八	一・〇五	一・〇四	一・〇二	一・〇六	一・〇二	一・〇四	一・〇五	一・〇六	一・〇二	一・〇一	一・〇一	一・〇一	一・〇四	一・〇三	一・〇一
大正九年 實數	一、二五六	一、九九六	一、二五六	一、二六四	〇・七四	〇・八一	〇・七四	〇・八一	〇・八一	〇・七三	〇・六五	〇・八一	〇・八八	〇・二五	〇・二六	〇・二二	〇・一六	〇・一八	〇・一六	〇・一七	〇・一二	〇・〇七
總數ニ對スル割合	二・九四	二・九九三	一・四七	一・九六	二・九四	二・九九三	一・七三四六	一・九四	一・八五	一・四六	一・四五	一・四四	一・四四	一・四四	一・四四	一・四四	一・四四	一・四四	一・四四	一・四四	一・四四	一・四四
大正十年 實數	一三〇	二、四五	一・四五	一・九四	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五	〇・八五
總數ニ對スル割合	二・四五	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四	二・八四
大正十一年 實數	二二	一、八一	一・〇九	〇・五九	〇・九九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九	〇・〇九
總數ニ對スル割合	二・九六九	二・九六九	一・六三	一・六三	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七
大正十二年 實數	一七〇	二、八八	二・八八	一・七八	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一	一・七七一
總數ニ對スル割合	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四	二・七四
大正十三年 實數	一四七	三、九五九	三・一六	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四	二・九四
總數ニ對スル割合	二・九四	二・九九六	一・八一	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五	一・六五
大正十四年 實數	一三〇	二、二〇	一・二〇	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七	一・〇七
總數ニ對スル割合	二・二六	二・二六	一・八六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六	一・五六
昭和元年 實數	一三四	二、二〇	一・六八	一・五三	〇・七〇	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一
總數ニ對スル割合	三・九八	一・五三	一・六七	一・五三	〇・七〇	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一	〇・一一

(4) 其他ノ非金屬山

事由	年次	劇物ノタメ 死亡 回數	劇物ノタメ 死亡 重傷	劇物ノタメ 死亡 輕傷	熱灼熔物ノタメ 死亡 回數	熱灼熔物ノタメ 死亡 重傷	熱灼熔物ノタメ 死亡 輕傷	器械ノタメ 死亡 回數	器械ノタメ 死亡 重傷	器械ノタメ 死亡 輕傷
大正六年	實數	一五	二	一三			五	五四六	三	五二
	總數ニ對スル割合	一・七八	三・九二	一・六六			〇・六四	六四・八%	六二・三五	六五・二
大正七年	實數	五	一	五			五	四二	三	三六二
	總數ニ對スル割合	〇・五〇	六・二五	〇・七九			〇・七九	五八・九〇%	五五・七〇	五七・〇〇
大正八年	實數	七	二	五			五	三五六	三	二八
	總數ニ對スル割合	一・〇二	三・六七	〇・八四			〇・七三	五二・九八%	五〇・九二	五二・二三
大正九年	實數	九		九			九	三六	四〇	二七五
	總數ニ對スル割合	一・〇五		一・一三			一・〇五	三六・九三%	二〇・〇〇	三四・六八
大正十年	實數	二		二			九	三九	一	二九
	總數ニ對スル割合	〇・二一		〇・三三			〇・九六	二五・六八%	二〇・〇〇	二四・一五
大正十一年	實數						七	七三		一八
	總數ニ對スル割合						一・四一	一一・九七%		一六・七一
大正十二年	實數						七	一八	三	二四
	總數ニ對スル割合						〇・九二	一四・七六%	三・三三	一八・九一
大正十三年	實數						二	一四九	一	三一
	總數ニ對スル割合						〇・九九	二〇・一五%	二〇・〇〇	三三・九八
大正十四年	實數						一三	七三	三	一三
	總數ニ對スル割合						二・四〇	一一・二八%	五〇・〇〇	一一・三〇
昭和元年	實數						一	六五	一	一四
	總數ニ對スル割合						〇・一九	一〇・六八%	一六・六六	一二・二八

事由	年次	坑外鑛車又ハ架空索道ノタメ 死亡 回數	坑外鑛車又ハ架空索道ノタメ 死亡 重傷	坑外鑛車又ハ架空索道ノタメ 死亡 輕傷	熱灼融 回數
大正六年	實數	七四		二	一八
	總數ニ對スル割合	二・七六%		二・六六	〇・六七
大正七年	實數	一五		九	五
	總數ニ對スル割合	一〇・二五%		一三・六七	〇・三四
大正八年	實數	一二	一	三	一九
	總數ニ對スル割合	一三・五二%	九〇・〇九	九・三七	二・一四
大正九年	實數	一三		四	七
	總數ニ對スル割合	一四・〇一%		一四・八三	〇・八〇
大正十年	實數	八四		四	一
	總數ニ對スル割合	一四・〇五%		一二・九一	〇・一七
大正十一年	實數	六〇		四	三
	總數ニ對スル割合	一六・六四%		一三・七八	〇・八三
大正十二年	實數	八九		三	六
	總數ニ對スル割合	一二・七八%		六・六六	〇・九三
大正十三年	實數	一三	一	九	一〇
	總數ニ對スル割合	一三・七三%	一一・一一	一〇・八四	一・〇四
大正十四年	實數	一〇七		七	一五
	總數ニ對スル割合	一一・八四%		一三・四七	一・六六
昭和元年	實數	一〇六		八	七
	總數ニ對スル割合	一三・七三%		一九・六四	〇・八四

第八表　石炭山に於ける出炭百萬瓲當り死傷率累年比較

年次	出炭量	死亡 數	死亡 率	重傷 數	重傷 率	死傷 數	死傷 率
明治三十二年	六七七五五七二瓲	二六五	三九・二三	二七	三・九八	二五	三・六九
同三十三年	七四八八八九三	四三	五七四	七八	一〇・四二	八〇	一〇・六八

年次	熔物ノタメ 死亡 回數	熔物ノタメ 死亡 重傷	熔物ノタメ 死亡 輕傷	器械ノタメ 死亡 回數	器械ノタメ 死亡 重傷	器械ノタメ 死亡 輕傷	落磐 死亡 回數	落磐 死亡 重傷	落磐 死亡 輕傷	坑車ノタメ 死亡 回數	坑車ノタメ 死亡 重傷	坑車ノタメ 死亡 輕傷	發破又ハ爆發ノタメ 死亡 回數	發破又ハ爆發ノタメ 死亡 重傷	發破又ハ爆發ノタメ 死亡 輕傷
大正六年	四	五・一三	〇・六二	一四	〇・五一	一三	五四	二・〇二	五二	五一	一・九〇	四八	九	〇・三四	六
大正七年	六			四		四	二二	二	三	三三	二	三	四	四	四
	〇・四一			〇・二七		〇・二七	一・七〇	五〇・〇〇	一・五六	一・八二	二・八二	二・二二	〇・二七	〇・二七	〇・二七
大正八年	一七	二		四六	五・二九	四	一九	一	二	三	一	三	三	一	三〇
	二・〇五	六・三五		一八・一八	九・〇九	四・九〇	二・一四	三・二二	二・二五	三・七〇	九・〇九	三・七〇	三・五七	三・二二	三・五七
大正九年	五			一〇	一	二	一八	三	一五	四三	一	四三			
	〇・六〇			一・一四	七・四一	〇・二四	二・〇五	七・四一	一一・一一	五・〇〇	三・八二	五・〇〇			
大正十年	一			二	〇・三三	一	一六	一	二	三五	一	三五			
	〇・一九			二・六七	三・三三	〇・九一	五・四五	六・四五	二・九五	五・八五	三・二三	六・八三			
大正十一年	三			二	一	一	九	一	二	四一	二	四二	三	三	三
	〇・八八			〇・五五	五〇・〇〇	三・四五	二・七七	六・九〇	二・〇五	一一・三六	六・九〇	一二・二八	〇・八三	〇・八三	〇・八八
大正十二年	六			一〇	一	一	九	三	八	四	一	四〇	三	三	三
	〇・九七			一・五五	二・二三	一四・六一	一・三九	六・六六	二二・九九	六・六四	二・二三	六・四九	〇・四六	〇・四九	〇・四九
大正十三年	一〇			五	一	四	一九	三	一五	五〇	一	四八	一〇	一	一〇
	一・一二			〇・五三	一・二〇	〇・四五	一・九八	三・三三	一・六八	五・二二	三・九八	五・四九	一・〇四	一・二	一・二
大正十四年	一六			七	七	三	三	二	八	三七	四	三三	一〇	七	七
	一・八八			〇・七四	七・六九	〇・三五	一・一三	二五・〇〇	一一・一一	一〇・七七	七・六九	三・七五	一・一六	一・四七	〇・三五
昭和元年	七			三		三	一・四四	五	八	四六	四	四三	九	一	八
	〇・八二			〇・三六		〇・三七	一・〇〇	七・四二	一・〇〇	五・五二	一四・八二	五・二四	一・〇八	一・五二	一・〇〇

同三十四年	九、〇一七、五〇六	一八〇	一九・九六	一九二	二一・一八	七八	八・六五
同三十五年	九、七〇一、六八二	一三五	一三・九二	一七三	一七・七三	二一九	二二・五七
同三十六年	一〇、〇八八、八四五	二一五	二一・三二	二七九	二七・六五	一八〇	一七・八四
同三十七年	一〇、七三三、七九六	一八九	一七・六二	二三四	二〇・八九	五一三	四七・七四
同三十八年	一一、五四二、三九七	二五六	二二・一八	一九〇	一六・四六	二、三三四	二〇二・二一
同三十九年	一二、九八〇、一〇三	五六〇	四三・一四	二九八	二二・九六	四、六五四	三五八・五五
同四十年	一三、八〇三、九六九	四六八	三三・九〇	五三一	三八・四七	七、〇一二	五〇七・九七
同四十一年	一四、八二五、三六三	二四五	一六・五三	四三一	二九・〇七	七、八八四	五三一・七九
同四十二年	一五、〇四八、一一三	五三五	三五・五三	四一〇	二七・二五	七、七一三	五一二・四九
同四十三年	一五、六八一、三三四	三〇七	一九・五八	四三九	二八・〇〇	六、五四九	四一七・六三
同四十四年	一七、六三三、七一〇	四九七	二八・一九	八四〇	四七・六四	一二、一九七	六九七・四〇
大正元年	一九、六三九、七五五	八六〇	四三・七九	一、三八九	七〇・七二	一七、〇四六	八六七・九三
同二年	二一、三一五、九六二	五〇七	二三・七八	八二三	三八・五六	九九、九四五	四、六八八・七四
同三年	二三、二九三、四一九	一、五七二	七〇・五一	四六〇	二〇・六三	一二四、六三三	五、一四一・九七
同四年	二〇、四九〇、七四七	六五四	三一・九三	三七四	一八・二六	一〇七、一八九	五、二三三・六四
同五年	二三、九〇一、五八〇	四四九	一九・六一	一、三八五	六〇・四八	一〇四、七八五	四、五七五・四五
同六年	二六、三六一、四二〇	一、〇〇八	三八・二四	三、八二四	一四五・〇六	一三五、〇〇三	四、七四一・八九
同七年	二八、〇二九、四二五	六八二	二四・三三	四、五〇八	一六〇・八三	一三四、〇六二	四、七八二・八九
同八年	三一、二七一、〇九三	七六五	二四・四六	五、五〇五	一七六・〇四	一八四、五三七	五、九〇一・二〇
同九年	二九、二四五、三八四	九九二	三三・九二	五、〇〇六	一七一・一七	一七三、一三四	五、九二三・四六
同十年	二六、二二〇、六一七	六四三	二四・五三	五、三〇一	二〇二・一七	一五四、二九九	五、八八四・六四
同十一年	二七、七〇一、七三一	五四七	一九・七五	五、八八七	二一三・六一	一四八、六六九	五、三六六・七七
同十二年	二八、九四八、八二〇	六六三	二二・九〇	五、九〇二	二〇三・八八	一六七、二二八	五、七七六・六七

同十三年	三〇、一一〇、八二六	八三九	二七・八六	六、一一四	二〇三・〇五	一五四、五八五	五、一三三・八六
同十四年	三一、四五九、四一五	七三一	二三・九二	四、五三三	一四三・七四	一六六、九一六	五、三〇五・七四
昭和元年	三一、四二六、五四九	七一二	二二・六六	三、三六四	一〇七・〇四	一三九、七六五	四、四四七・三五

第九表　本邦と諸外國石炭山に於ける災害死傷比較

(1)　本邦並諸外國石炭山に於ける死傷累年比較（實數）

年次	日本 鑛夫人員	日本 死亡人員	日本 負傷人員	日本 死傷合計	米國 鑛夫人員	米國 死亡人員	米國 負傷人員	米國 死傷合計	英國 鑛夫人員	英國 死亡人員	英國 負傷人員	英國 死傷合計	佛蘭西 鑛夫人員	佛蘭西 死亡人員	佛蘭西 負傷人員	佛蘭西 死傷合計	獨逸 鑛夫人員	獨逸 死亡人員	獨逸 負傷人員	獨逸 死傷合計
一九一三年	一七三、四四六	五、七	一〇〇、七六七	一〇一、三二四	七四七、六四四	二、七八五	明	明	一、二二七、八九〇	一、七五三	明	明	六九四、三五七	一、六六一	明	明	六四、一〇〇	〇・二四	明	明
一九一四年	一八二、六三七	一、五七二	一二五、〇九二	一二六、六六四	七六三、一八五	二、四五四	明	明	一、二二九、七〇五	一、二二九	明	明	六四八、一七〇	一、五七九	明	明	五一三、六七九	一、五四八	明	明
一九一五年	一九三、一四三	六五四	一〇七、〇五六	一〇七、二二九	七三四、〇〇八	二、二六九	不	不	九九三、六四二	一、二二九	不	不	九九八、〇六三	一、三二三	不	不	五四二、六二八	一、五七八	不	不
一九一六年	一七七、九〇七	四四九	一〇六、一七〇	一〇六、六二九	七三〇、九七一	二、三三六	不	不	一〇〇、八六七	一、三七〇	不	不	一〇二、三四〇	一、四〇一	不	不	五九八、五六三	二、三五〇	不	不
一九一七年	二五〇、一四四	一、〇〇八	一二八、八二五	一二九、八三五	七七〇、八三七	二、六九六	不	不	一〇〇、八六七	一、四〇一	不	不	一〇二、三四〇	一、三七〇	不	不	五九八、五六三	二、三七〇	不	不
一九一八年	二一七、一五九	六八二	一二八、五七〇	一二九、八〇二	七七〇、四二六	二、五八〇	不	不	一、九一三、三三	一、一一八	明	明	一、四〇一	一、一一八	明	明	一、九一三、三三	一、一一八	明	明
一九一九年	三四八、二四〇	七六五	一九〇、〇四二	一九〇、〇八七	七七六、五六九	二、三二七	不	不	一、九一三、三三	一、一一八	明	明	一、四〇一	一、一一八	明	明	一、九一三、三三	一、一一八	明	明
一九二〇年	三四二、八七三	九九二	一七九、二四〇	一七九、二三二	七八四、六二一	二、二七一	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明
一九二一年	二六七、一六四	六四三	一六〇、二四三	一六〇、二〇六	八三三、二五三	一、九八七	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明
一九二二年	二四九、〇二三	五四七	一五九、六〇〇	一六〇、二四〇	八四四、八〇七	一、九八七	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明
一九二三年	二七八、七七一	六三	一七三、一三〇	一七三、七九三	八六三、二五三	一、九四八	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明
一九二四年	二五一、〇六九	八三九	一六〇、六六九	一六一、五六八	七七九、六一三	二、三五六	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明

(2)　本邦並諸外國に於ける石炭山死傷累年比較（鑛夫數ニ對スル死傷百分率）

年次	日本 鑛夫人員	日本 死亡	日本 負傷	日本 死傷合計	米國 鑛夫人員	米國 死亡	米國 負傷	米國 死傷合計	英國 鑛夫人員	英國 死亡	英國 負傷	英國 死傷合計	佛蘭西 鑛夫人員	佛蘭西 死亡	佛蘭西 負傷	佛蘭西 死傷合計	獨逸 鑛夫人員	獨逸 死亡	獨逸 負傷	獨逸 死傷合計
一九一三年	一七三、四四六	〇・二九‰	五八・四‰	五八・七‰	七四七、六四四	〇・三七‰	明	明	一、二二七、八九〇	〇・一六‰	明	明	六九四、三五七	〇・二四	明	明	六四、一〇〇	〇・二四	明	明
一九一四年	一八二、六三七	一、五七二	一二五、〇九二	一二六、六六四	七六三、一八五	二、四五四	不	不	一、二二九、七〇五	一、二二九	不	不	六四八、一七〇	一、五七九	不	不	五一三、六七九	一、五四八	不	不
一九一五年	一九三、一四三	六五四	一〇七、〇五六	一〇七、二二九	七三四、〇〇八	二、二六九	不	不	九九三、六四二	一、二二九	不	不	九九八、〇六三	一、三二三	不	不	五四二、六二八	一、五七八	不	不
一九一六年	一七七、九〇七	四四九	一〇六、一七〇	一〇六、六二九	七三〇、九七一	二、三三六	不	不	一〇〇、八六七	一、三七〇	不	不	一〇二、三四〇	一、三七〇	不	不	五九八、五六三	二、三五〇	不	不
一九一七年	二五〇、一四四	一、〇〇八	一二八、八二五	一二九、八三五	七七〇、八三七	二、六九六	不	不	一〇〇、八六七	一、四〇一	不	不	一〇二、三四〇	一、三七〇	不	不	一、九一三、三三	一、一一八	明	明
一九一八年	二一七、一五九	六八二	一二八、五七〇	一二九、八〇二	七七〇、四二六	二、五八〇	不	不	一、九一三、三三	一、一一八	明	明	一、四〇一	一、一一八	明	明	一、九一三、三三	一、一一八	明	明
一九一九年	三四八、二四〇	七六五	一九〇、〇四二	一九〇、〇八七	七七六、五六九	二、三二七	不	不	一、九一三、三三	一、一一八	明	明	一、四〇一	一、一一八	明	明	一、九一三、三三	一、一一八	明	明
一九二〇年	三四二、八七三	九九二	一七九、二四〇	一七九、二三二	七八四、六二一	二、二七一	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明
一九二一年	二六七、一六四	六四三	一六〇、二四三	一六〇、二〇六	八三三、二五三	一、九八七	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明
一九二二年	二四九、〇二三	五四七	一五九、六〇〇	一六〇、二四〇	八四四、八〇七	一、九八七	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明
一九二三年	二七八、七七一	六三	一七三、一三〇	一七三、七九三	八六三、二五三	一、九四八	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明
一九二四年	二五一、〇六九	八三九	一六〇、六六九	一六一、五六八	七七九、六一三	二、三五六	不	不	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明	一、四〇一	一、一〇三	明	明	一、一〇三、二二四	一、一〇三	明	明

(3)　米國石炭山に於ける事由別死亡累年比較

年次	坑内員 鑛夫數	坑内員 死亡人員	坑内員 瓦斯及ハ炭塵爆發 獲夫數ニ對スル死亡百分率	坑内員 瓦斯及ハ炭塵爆發 死亡人員	坑内員 瓦斯及ハ炭塵爆發 獲夫數ニ對スル死亡百分率	坑内員 捲揚竪坑ニ於テ 死亡人員	坑内員 捲揚竪坑ニ於テ 獲夫數ニ對スル死亡百分率	坑内員 其他 死亡人員	坑内員 其他 獲夫數ニ對スル死亡百分率	坑内員 合計 死亡人員	坑内員 合計 獲夫數ニ對スル死亡百分率	坑外員 鑛夫數	坑外員 死亡 人員	坑外員 死亡 獲夫數ニ對スル死亡百分率	合計 鑛夫數	合計 死亡 人員	合計 死亡 獲夫數ニ對スル死亡百分率
一九一三年	六三三、一一九	五一四	〇・〇八三	一、二六四	〇・二〇三	六三	〇・〇一〇	七八四	〇・二二六	二、六二四	〇・二四三	一二五、三三五	七六	〇・〇六一	七四七、六四四	二、七八五	〇・三七三
一九一四年	六三八、三三四	三四九	〇・五五四	一、一三一	〇・一七七	八八	〇・〇一四	七二〇	〇・一二三	二、二二八	〇・三五八	二一八、八二一	一二三	〇・〇五六	七六三、一八五	二、四五四	〇・三二九
一九一五年	六三三、三九六	三四	〇・〇五〇	一、〇七九	〇・一七五	四〇	〇・〇〇七	六六六	〇・一二三	二、一〇九	〇・三四四	二一〇、六二二	一六六	〇・〇一一	七三四、〇〇八	二、二六九	〇・三〇九
一九一六年	五九〇、九四九	三二六	〇・〇五八	一、〇六五	〇・八〇	四九	〇・〇〇八	六〇	〇・一二九	二、二七五	〇・三二七	二一〇、〇九七	一二〇	〇・〇一一	七三〇、九七一	二、二三六	〇・三〇九
一九一七年	五九七、九三三	二三〇	〇・〇五九	一、〇三三	〇・二二六	五二	〇・〇一〇	八五八	〇・一四三	二、四三五	〇・三四〇	二一〇、〇七六	一二六	〇・〇一一	七七〇、八三七	二、六九六	〇・三五六
一九一八年	六一六、六三〇	一九一	〇・〇三一	一、一一〇	〇・一七九	五三	〇・〇一〇	七二一	〇・一二七	二、三三三	〇・三四五	二一〇、〇七六	一二〇	〇・〇一一	七七〇、七三七	二、五八〇	〇・三五〇
一九一九年	六三〇、八三五	一八四	〇・〇二六	一、一三三	〇・一七九	五六	〇・〇〇九	七二四	〇・一二七	二、三一〇	〇・三四五	二一〇、〇七六	一二〇	〇・〇一一	七七〇、七三七	二、五八〇	〇・三五〇
一九二〇年	六八四、一〇六	一一六	〇・〇一七	一、〇二四	〇・一五〇	三六	〇・〇〇五	六九一	〇・一二〇	二、〇一一	〇・三〇九	二一〇、〇七六	一二〇	〇・〇一一	七七〇、七三七	二、五八〇	〇・三五〇
一九二一年	六九六、六八八	三一	〇・〇四四	九五二	〇・〇七八	四一	〇・〇〇五	五八四	〇・〇〇九	一、九八一	〇・二七〇	二一〇、〇七六	一二〇	〇・〇一一	七七〇、七三七	二、五八〇	〇・三五〇
平均	六三〇、〇一四	二六六	〇・〇四二	一、一一三	〇・一七八	五四	〇・〇〇九	七三五	〇・一一七	二、一七八	〇・三四六	二一〇、〇七六	一二〇	〇・〇一一	七七〇、七三七	二、五八〇	〇・三五〇

(4) 英國石炭山に於ける事由別死亡累年比較

年次	鑛夫數	瓦斯又ハ炭塵爆發 死亡人員	瓦斯又ハ炭塵爆發 鑛夫數ニ對スル死亡百分率	落磐 死亡人員	落磐 鑛夫數ニ對スル死亡百分率	揚捲竪坑ニ於テ 死亡人員	揚捲竪坑ニ於テ 鑛夫數ニ對スル死亡百分率	其他 死亡人員	其他 鑛夫數ニ對スル死亡百分率	合計 死亡人員	合計 鑛夫數ニ對スル死亡百分率	坑外 鑛夫數	坑外 死亡人員	坑外 鑛夫數ニ對スル死亡百分率	合計 鑛夫數	合計 死亡人員	合計 鑛夫數ニ對スル死亡百分率
一九一三年	九、九八、八三四	四六二	〇・〇五一	六二〇	〇・〇七九	九八	〇・〇一二	四〇〇	〇・〇四四	一、八八〇	〇・一七四	二八、〇五六	一七三	〇・〇七九	一、二七、八九〇	一、七五三	〇・一五五
一九一四年	八四八、二三六	二六	〇・〇〇三	五九六	〇・〇七〇	六六	〇・〇〇八	三九八	〇・〇四七	一、〇八六	〇・一二八	二〇九、二六九	一二三	〇・〇六四	一、〇五七、五〇五	一、二二九	〇・一二六
一九一五年	七五四、六七三	四一	〇・〇〇五	六七三	〇・〇八九	六二	〇・〇〇八	三九二	〇・〇五二	一、一六七	〇・一五五	一九八、九六九	一三〇	〇・〇六五	九五三、八四二	一、二九七	〇・一三六
一九一六年	七九二、九一一	三三	〇・〇〇三	七〇四	〇・〇八九	四四	〇・〇〇六	三九一	〇・〇四九	一、一六三	〇・一四七	二〇五、一五二	二五〇	〇・〇七四	一、〇〇二、三四〇	一、三七〇	〇・一三四
一九一七年	八一一、五一〇	二〇	〇・〇〇三	七二四	〇・〇八六	六三	〇・〇〇八	四〇八	〇・〇五〇	一、二二四	〇・一五〇	二〇九、八三〇	二五六	〇・〇七四	一、〇〇八、八六七	一、四〇一	〇・一二九
一九一八年	七九四、八四三	一六〇	〇・〇一〇	六八五	〇・〇八三	四七	〇・〇〇六	三八五	〇・〇四八	一、〇七七	〇・一〇六	二四五、五七七	二一五	〇・〇七〇	一、〇九一、三一三	一、一一八	〇・〇九四
一九一九年	九四五、八〇六	二七	〇・〇〇三	五八九	〇・〇六三	四五	〇・〇〇五	三四三	〇・〇三六	九六五	〇・〇九七	二五七、八六五	二〇八	〇・〇六八	一、一四八、三三四	一、〇〇三	〇・〇八八
一九二〇年	九〇〇、三五九	二六	〇・〇〇三	五四四	〇・〇四三	四〇	〇・〇〇四	三五五	〇・〇三七	一、〇七七	〇・〇九七	二三六、二四五	一九八	〇・〇七四	一、〇〇二、三四〇	七五六	〇・〇八六
一九二一年	九三〇、〇二九	一九	〇・〇〇二	五五二	〇・〇五九	二六	〇・〇〇三	二五四	〇・〇二七	一、〇〇八	〇・〇九四	二〇九、八三〇	二〇九	〇・〇七七	一、〇〇二、三四〇	一、一〇五	〇・〇八五
一九二二年	八六九、九七七	八八	〇・〇一〇	六二〇	〇・〇八〇	九八	〇・〇一二	四〇〇	〇・〇四〇	一、〇八〇	〇・一二八	二一四、〇二四	二一三	〇・〇七〇	一、〇〇八、八六七	一、〇二九	〇・〇八四
平均																	

(5) 本邦並諸外國に於ける鑛夫一人當出炭量並出炭量一萬瓲當死亡人員累年比較

年次	日本 出炭量	日本 鑛夫一人當出炭量	日本 出炭一萬瓲當死亡人員	米國 出炭量	米國 鑛夫一人當出炭量	米國 出炭一萬瓲當死亡人員	英國 出炭量	英國 鑛夫一人當出炭量	英國 出炭一萬瓲當死亡人員	佛蘭西 出炭量	佛蘭西 鑛夫一人當出炭量	佛蘭西 出炭一萬瓲當死亡人員	獨逸 出炭量	獨逸 鑛夫一人當出炭量	獨逸 出炭一萬瓲當死亡人員
一九一三年	二一、三二五、九六二瓲	一二三・〇瓲	〇・〇二四人	五一七、〇〇〇、〇〇〇瓲	六九二・〇瓲	〇・〇五四人	二九二、〇〇〇、〇〇〇瓲	二五九・〇瓲	〇・〇六〇人	四〇、八〇〇、〇〇〇瓲	一七、五五〇、〇〇〇瓲	〇・〇四〇人	二五〇、〇〇〇、〇〇〇瓲	三六一・〇瓲	〇・〇七一人
一九一四年	二二、二五三、四一九	一二三・〇	〇・〇二五	五六七、〇〇〇、〇〇〇	六二一・〇	〇・〇五三	二六九、〇〇〇、〇〇〇	二七三・〇	〇・〇五五	二七、〇〇〇、〇〇〇	一九五・〇	〇・〇五五	二五七、〇〇〇、〇〇〇	三四一・〇	〇・〇七〇
一九一五年	二〇、四九〇、七四七	一〇八・一	〇・〇二三	四八三、〇〇〇、〇〇〇	六九八・〇	〇・〇四七	二六六、〇〇〇、〇〇〇	二六六・〇	〇・〇四一	二六、〇〇〇、〇〇〇	一八二・〇	〇・〇四一	二六五、〇〇〇、〇〇〇	四一三・〇	〇・〇八二
一九一六年	二二、九〇一、五八〇	二二五・七	〇・〇二〇	五三六、〇〇〇、〇〇〇	七二一・〇	〇・〇四一	二五五、〇〇〇、〇〇〇	二七三・〇	〇・〇四六	二四八・〇	一七三・〇	〇・〇四二	二五三、〇〇〇、〇〇〇	二九八・〇	〇・〇一〇
一九一七年	二六、三六一、四三〇	一〇四・四	〇・〇二八	五九二、〇〇〇、〇〇〇	七八二・〇	〇・〇四二	二三一、三三二、〇〇〇	二三〇・〇	〇・〇八〇	二六、〇〇〇、〇〇〇	一五六・〇	〇・〇八〇	二三一、三三二、〇〇〇	二九六・〇	〇・〇八七
一九一八年	二六、〇二九、四三五	九七・六	〇・〇二四	六一八、〇〇〇、〇〇〇	八〇七・〇	〇・〇四二	二三三、四六七、四七八	二九六・〇	〇・〇八八	二六、三〇〇、〇〇〇	一三〇・〇	〇・〇七四	二三三、四六七、四七八	二六八・〇	〇・〇八二
一九一九年	三一、二七一、〇九三	八九・八	〇・〇二四	五〇二、五三四、〇九六	六四七・〇	〇・〇四六	二二三、二一六、二二二	一九六・〇	〇・〇八七	二一、二四〇、〇〇〇	一三二・〇	〇・〇七〇	二一〇、八〇〇、〇〇〇	二九一・〇	〇・〇八二
一九二〇年	二九、二四五、三八四	八五・三	〇・〇二四	五九七、一七二、一二五一	七六一・〇	〇・〇三八	一六五、八七一、〇〇〇	一九六・〇	〇・〇八六	二一、九〇〇、〇〇〇	一三〇・〇	〇・〇七四	二一〇、八〇〇、〇〇〇	二九一・〇	〇・〇八二
一九二一年	二六、一三〇、六一七	九九・八	〇・〇二五	四九九、三九二、〇〇〇	五八八・〇	〇・〇四三	一六五、八七一、〇〇〇	一四五・〇	〇・〇八六	一七、〇〇〇、〇〇〇	一九六・〇	〇・〇七三	二〇八、二〇〇、〇〇〇	二九八・〇	〇・〇八〇
一九二二年	二七、七〇一、七三一	一一一・三	〇・〇二〇	四三二、六八〇、五一八	五二二・〇	〇・〇四六	二五五、六二三、〇五四	二八八・〇	〇・〇四四	一六、九四〇、〇八四五	一三一・〇	〇・〇七〇	二〇八、二〇〇、〇〇〇	二九六・〇	〇・〇八二
一九二三年	二八、九四八、八二〇	一〇四・〇	〇・〇二三	五九六、八三七、〇五二	六九二・〇	〇・〇四一	二八〇、四三二、三六九	二七一・〇	〇・〇八七	三一、九四〇、八四五	二八八・〇	〇・〇七〇	一八九、五九四、〇五五	二四三・一	〇・〇八二
一九二四年	三〇、一一〇、八二六	一一〇・〇	〇・〇二八	五八八、五九六、二四七	六六五・〇	〇・〇四六	二七一、四五五、四一四	二七一・〇	〇・〇八七	三八、五四三、六七〇	二四四・〇	〇・〇七四	二四三、一八九、〇〇〇	二四三・一	〇・〇八二

昭和三年五月七日印刷
昭和三年五月十日發行

發行人　日本鑛山協會
代表者　竹永喜一
東京市京橋區木挽町九丁目
地質調査所內

印刷者　小松善作
東京市京橋區南鍛冶町二十四番地

印刷所　小松印刷所
東京市京橋區南鍛冶町二十四番地
電話京橋二六六六番

14.4.
796

NO.

"F-M"
PAMPHLET BINDERS
are carried in stock in the following sizes

Catalog No.	High		Wide		Thickness
851(菊倍)	30.cm.	x	22.5cm.	x	1cm.
852(四六倍)	26. ,,	x	18.5 ,,	x	1 ,,
853(菊)	22.5 ,,	x	15. ,,	x	1 ,,
854(四六)	18.5 ,,	x	12.5 ,,	x	1 ,,
855(特)	24. ,,	x	15. ,,	x	1 ,,

other sizes are made to order

LIBRARY SUPPLIES OF ALL KINDS
F. MAMIYA & CO.
OSAKA - TOKYO - FUKUOKA

終